

Arcstar Smart PBX
IP電話機 KX-HDV 130N/230N
操作マニュアル ver 1.2

NTTコミュニケーションズ株式会社
2017年11月

改版履歴

改訂番号	変更日付	変更内容
1.0	2017/08/01	初版
1.1	2017/10/13	電話帳インポート用データ作成手順を追加
1.2	2017/11/29	マルチラインを追加

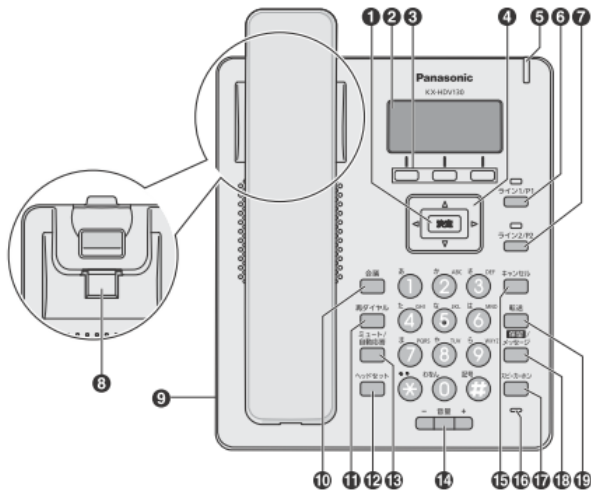
目次

1- 機能説明	p.5	9- マルチライン	p.33
1.1 電話機機能		9.1 マルチラインとは	
1.1.1 各部機能		9.2 発信	
1.1.2 背面		9.3 着信	
1.2 液晶画面		9.4 保留	
1.3 基本的な操作のしかた		9.5 コールピックアップ/パーク保留	
2- 発信	p.13	9.6 留守番電話	
2.1 内線発信		9.7 その他	
2.2 外線発信		10- その他	p.38
2.3 短縮発信		10.1 着信音の変更	
2.4 履歴発信		10.2 LCDコントラスト	
2.5 再ダイヤルをする		10.3 バックライト	
3- 着信	p.15	10.4 パスワード変更	
3.1 着信拒否		10.5 インフォメーション表示	
3.1.1 特定番号着信拒否		10.6 ネットワーク設定	
3.2 不在着信件数の表示		10.7 リスタート	
4- 保留	p.17	10.8 内線テストコール	
4.1 通話中保留		10.9 本機を接続/設置する	
4.2 保留電話への応答		10.10 本機を設定する	
5- コールピックアップ/パーク保留	p.18	10.11 話中着信（コールウェイティング）	
5.1 コールピックアップ		11- 留意点	p.53
5.2 パーク保留		11.1 ご利用ネットワーク環境における設定	
5.2.1 パーク保留をする		11.2 IP-Phoneお買上げ時の管理者権限	
5.2.2 パーク保留中の電話に応答する		12- 機能用語集	p.54
6- 転送	p.20	12.1 コールピックアップとは	
6.1 保留転送		12.2 パーク保留とは	
6.2 ブラインド転送			
7- 留守番電話	p.21		
7.1 留守番電話			
8- 電話帳(個人電話帳)	p.22		
8.1 電話帳登録			
8.2 電話帳のインポート/エクスポート			
8.3 電話帳インポート用データ作成手順			
8.4 電話帳から発信			
8.5 文字入力のしかた			

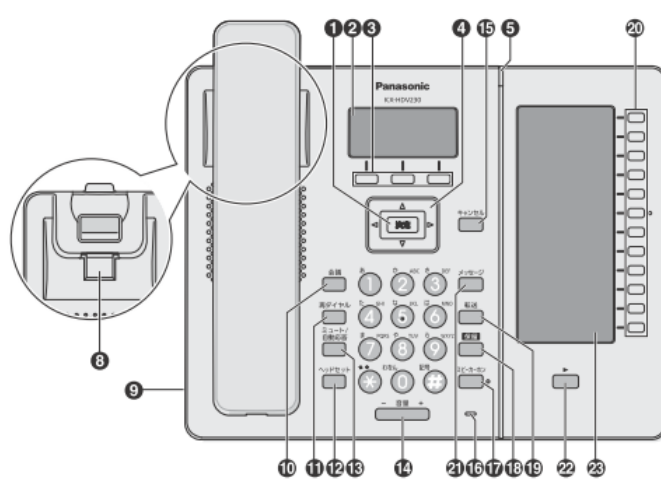
1- 機能説明

1.1 電話機機能

KX-HDV130N



KX-HDV230N



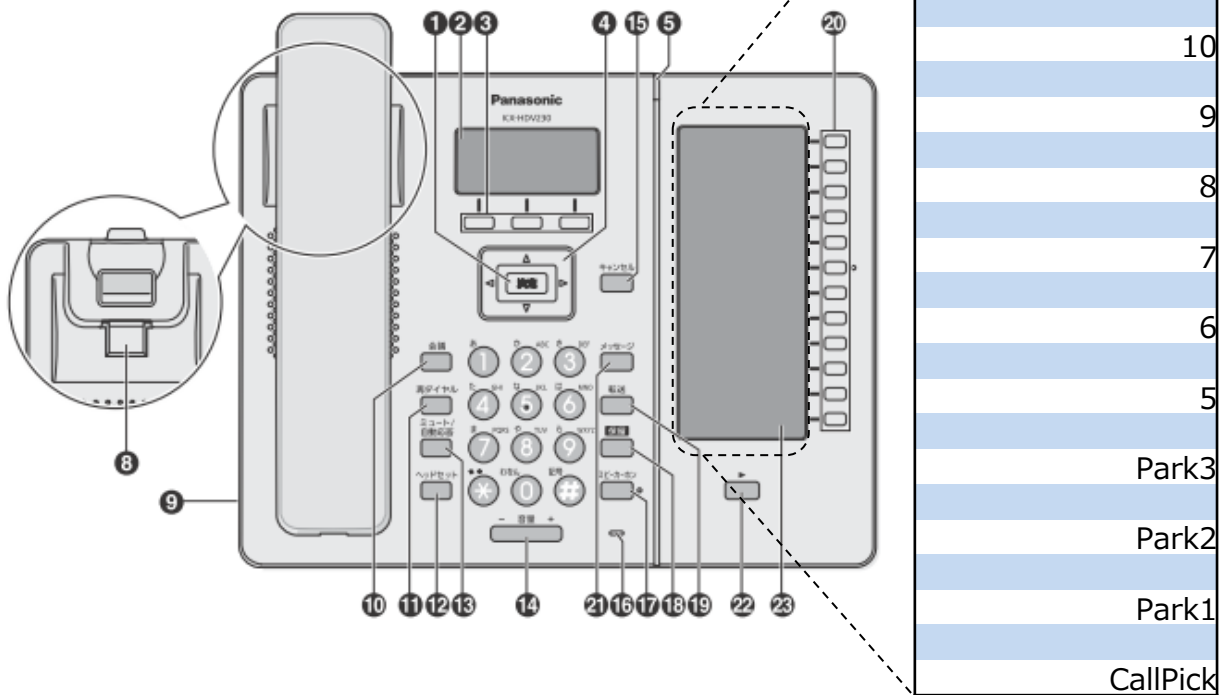
①	決定キー	⑬	ミュート/自動応答キー
②	液晶表示部	⑭	音量キー
③	ソフトキー	⑮	キャンセルキー
④	ナビゲーションキー	⑯	マイク
⑤	メッセージ/リンガー LED	⑰	スピーカーホンキー
⑥	回線 1 /フレキシブル機能キー 1 ※本サービスにおいては使用できません	⑱	保留/メッセージキー (KX-HDV130N) 保留キー (KX-HDV230N)
⑦	回線 2 /フレキシブル機能キー 2 ※本サービスにおいては使用できません	⑲	転送キー
⑧	受話器フック	⑳	フレキシブル機能キー[01~12] (KX-HDV230N のみ)
⑨	ヘッドセットジャック	㉑	メッセージキー (KX-HDV230N のみ)
⑩	会議キー ※本サービスにおいては保証できません。	㉒	ページキー (KX-HDV230N のみ)
⑪	再ダイヤルキー	㉓	セルフラベリング液晶表示部 (KX-HDV230N のみ)
⑫	ヘッドセットキー		

1- 機能説明

■ 1.1 電話機機能

ボタンの配列

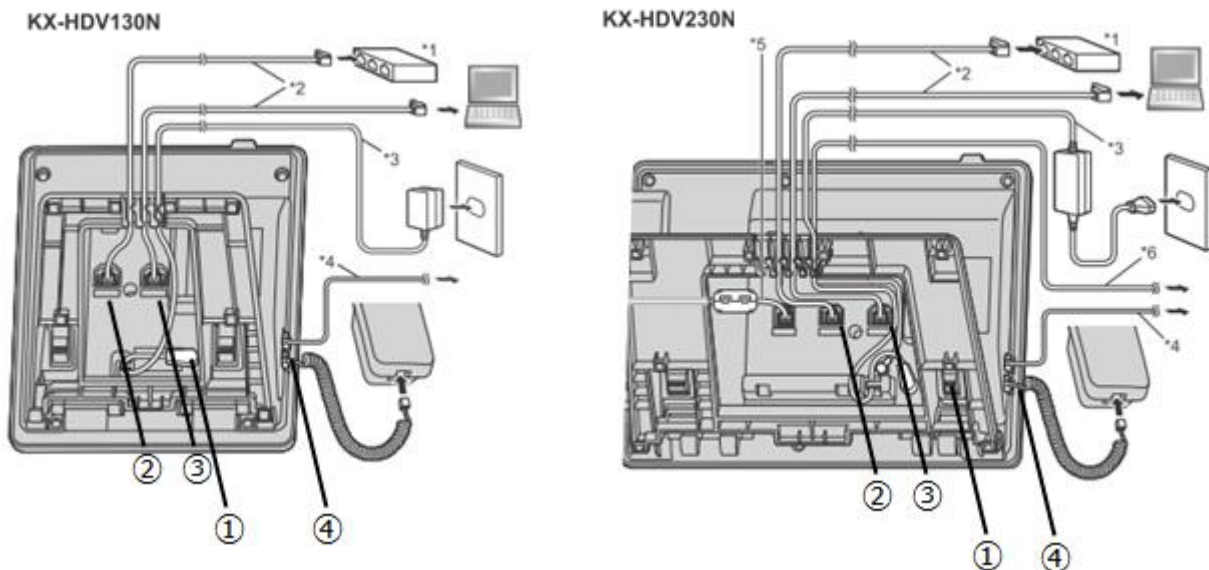
KX-HDV230N



1.1.1 各部機能

①	決定キー	項目を決定したり、設定内容を保存するときに使用します。
②	液晶表示部	
③	ソフトキー	液晶表示部に表示されている項目を選択します。
④	ナビゲーションキー	着信履歴を表示したり、電話帳を開くときに使用します。 <ul style="list-style-type: none"> • 左矢印【◀】：着信履歴を表示する • 右矢印【▶】：電話帳を開く
⑤	メッセージ/リンガー LED	LED の色で本機の状態を示します。
⑥	回線 1 /フレキシブル機能キー 1 ※本サービスにおいては使用できません	割り当てられた機能の実行に使用します。このキーが回線キーとして登録されると、状態確認や回線 1 の選択に使用します。
⑦	回線 2 /フレキシブル機能キー 2 ※本サービスにおいては使用できません	割り当てられた機能の実行に使用します。このキーが回線キーとして登録されると、状態確認や回線 2 の選択に使用します。
⑧	受話器フック	壁に設置して使用するとき、受話器が落ちないように固定します。
⑨	ヘッドセットジャック	動作確認済みのヘッドセットの最新情報は下記サイトでご確認ください。 http://panasonic.biz/netsys/sipphone/support/
⑩	会議キー	3 者会議通話するときに使用します。
⑪	再ダイヤルキー	直前に電話をかけた相手に再ダイヤルするときに使用します。
⑫	ヘッドセットキー	ヘッドセットを使って通話をするときに使用します。
⑬	ミュート/自動応答キー	通話中に自分の声を相手に聞こえないようにしたり（ミュート）、受話器を使わずに自動的に着信する（自動応答）ように設定するときに使用します。
⑭	音量キー	着信 や受話器の音量を調節するときに使用します。
⑮	キャンセルキー	選択した項目をキャンセルするときに使用します。
⑯	マイク	受話器を取らずに通話するときに使います。
⑰	スピーカーホンキー	受話器をとらずに通話するときに使用します。
⑱	保留/メッセージキー (KX-HDV130N) 保留キー (KX-HDV230N)	通話を保留したり、ボイスメールを確認するときに使用します。 通話を保留するときに使用します。
⑲	転送キー	通話を転送するときに使用します。
⑳	フレキシブル機能キー[01~12] (KX-HDV230N のみ)	各種機能をこのキーに割り当て、実行することができます。例えば、回線ステータスキーとして割り当てた場合、回線の状態を確認することができます。セルフラベリング液晶上で割り当てた機能名を確認することができます。
㉑	メッセージキー (KX-HDV230N のみ)	ボイスメールを確認するときに使用します。
㉒	ページキー (KX-HDV230N のみ)	セルフラベリング液晶表示部のフレキシブル機能キーの表示を切り替えるときに使用します。1 画面につき 12 個のフレキシブル機能キーを 2 画面に切り替えて表示することができます。
㉓	セルフラベリング液晶表示部 (KX-HDV230N のみ)	

1.1.2 背面



- ① DCジャック
- ② LANポート
- ③ PCポート
- ④ 受話器用モジュージャック

- *1 スイッチングハブ
- *2 LAN ケーブル
- *3 AC アダプター（極性統一形プラグ）
- *4 市販のヘッドセット

Panasonic動作確認済みのヘッドセットの最新情報は、下記サイトでご確認ください。

<http://panasonic.biz/netsys/sipphone/support/>

- *5 連結ケーブル
- *6 市販の EHS ヘッドセット









Panasonic動作確認済みの EHS ヘッドセットの最新情報は下記サイトでご確認ください。

<http://panasonic.biz/netsys/sipphone/support/>

■ 1.2 液晶画面



①ステータスアイコン

アイコン	説明
	不在転送が設定されています。
	不在設定が設定されています。
	自動応答が設定されています。
	着信音がオフになっています。
	エコモードが設定されています。
	オフフックモニタが設定されています (KX-HDV230N のみ)。
	トレーナーモードが設定されています (KX-HDV230N のみ)。
	【▲】または【▼】を押してページを切り替えることができます。

②日時





















③不在着信、新着のボイスメール、発信者名や着信番号

④ソフトキーアイコン

1.2.1 ソフトキーとソフトキーアイコンについて

液晶表示部に表示されているソフトキーアイコンを選択するには、アイコンの下のソフトキーを押します。

ソフトキー-[1] (左) / [2] (中央) / [3] (右)

アイコン	説明
	電話帳を開きます。このキーを2秒以上長押しすると、電話帳がロックされます。パスワードの設定をしていないと、電話帳ロックはできません。(“4.2パスワードを設定する”参照) パスワード入力を求められた場合、電話帳がロックされています。一時的にロック解除する場合は短押し、完全に解除する場合は2秒以上長押し後、パスワードを入力してください。
	前の画面に戻ります。
	電話に応答します。
	回線選択画面を表示します。 ¹⁾
	パーク保留や確認転送を実行するときに使用します。
	メニューを表示します。
	入力、設定を確定します。
	電話をかけます。
	着信音をオフにします。
	電話帳に新しい連絡先を登録します。
	発信履歴を開くときに使用します。
	着信履歴を開くときに使用します。
	表示される内容を削除します。
	発信履歴と着信履歴を開くときに使用します。
	3者会議保留中に会議を再開するときに使用します。
	マルチキャストページング受信時に音を消すときに使用します。
	ブラインド転送を行います。
	アルファベット入力モードのときに表示されます。
	数字入力モードのときに表示されます。
	ひらがな、漢字を入力するときに使用します。

アイコン	説明
カナ	カタカナを入力するときに使用します。
全角	全角文字を入力するときに使用します。
半角	半角文字を入力するときに使用します。
変換	入力した文字を変換するときに使用します。
拒否	着信を拒否します。
次へ	次の画面へ進みます。
クリア	数字や文字を削除します。
検索	電話帳にある連絡先を検索するときに使用します。
AM/PM	時刻設定の午前、または午後を選択するときに使用します。
キャンセル	表示される内容を取り消します。
保存	表示される内容を保存します。
不在	不在転送と不在設定を設定します。
ホット0～ホット9	ホットキーに割り当てられた電話番号にダイヤルします。
パーク ²	パーク保留に応答するときに使用します。
フック	受話器を戻さずに、現在の通話を終了して別の相手に電話をかけるときに使用します。
ポーズ ²	ダイヤルするときにポーズを入れます。

¹ KX-HDV230N のみ

² このソフトキーは、電話機に設定されているときのみ表示されます。

■ 1.3 基本的な操作のしかた

この章では、本機の基本的な使用方法について説明します。

本機の内線番号を確認する

- ・ 待機中(通話中または発信中以外)に、本機の内線番号と登録されたユーザ名を確認できます。
- ・ 不在着信が表示されている場合は、着信履歴にて不在着信内容を確認し不在着信表示を消去する必要があります。

● 受話器を取る/戻す

本機では、複数の方法で電話をかけたり切ったりすることができます。

- ・ 受話器を使う
- ・ 【スピーカーホン/ヘッドセット】を使う
- ・ ソフトボタンを使う

受話器を取る

本書で「受話器を取る」という表記をしている場合、以下のいずれかの操作を行えます。

- ・ 受話器を受話器フックから持ち上げる
- ・ 受話器が受話器フックに置かれているときに【スピーカーホン/ヘッドセット】を押す
この操作を行うと、ハンズフリーで通話ができます。
- ・ ヘッドセットを使って通話をするときに【スピーカホン/ヘッドセット】を押す

お知らせ

- ・ 【応答】などのソフトボタンを押しても、【スピーカーホン】と同じ操作を行うことができます。

受話器を戻す

本書で「受話器を戻す」という表記をしている場合、以下のいずれかの操作を行えます。

- ・ 受話器を受話器フックに置く
- ・ ハンズフリーまたはヘッドセットでの通話中に【スピーカーホン】を押す

●受話器を取らずに通話する(ハンズフリー)

ハンズフリー機能を使用して、受話器を使わずに通話ができます。
通話中に何かを書きとめたりする場合に便利です。

ハンズフリー機能を利用する

以下のいずれかの操作を行うと、ハンズフリーで通話ができます。

- ・ 待機中に【スピーカーホン】を押す
- ・ 受話器での通話中に【スピーカーホン】を押し、受話器を戻す。
- ・ 電話に応答するときに、【応答】を押す
- ・ 待機中（消灯）のフレキシブル機能キーを押す（KT-HDV230Nのみ）
- ・ 着信中（青点滅 [速]）のフレキシブル機能キーを押す（KT-HDV230Nのみ）
- ・ 保留中（青点滅 [遅]）のフレキシブル機能キーを押す（KT-HDV230Nのみ）

ハンズフリーを終了する

受話器を取ることで、ハンズフリー機能を終了することができます。

●相手の声を周りの人に聞かせる(オフフックモニター)

以下の操作を行うと、受話器での通話中に、通話相手の声をスピーカーから自分の周りにいる人に聞かせることができます。

- ・ 【スピーカーホン】を押し、受話器を戻さずに通話する
- ・ オフフックモニターを終了するには、【スピーカーホン】を再度押す

お知らせ

- ・ オフフックモニター中に受話器を戻すと、ハンズフリー通話になります。


●音量調節をする

音量キーの【+】と【-】を使って、着信、受話器、ヘッドセット、スピーカーの音量を調節することができます。

着信音量を調節する

着信中、【+】または【-】を押す

お知らせ

- ・ 設定メニューからも着信音量を調節することができます。
- ・ 着信音量を一番下まで下げると「オフ」が表示されます。また、待機中の画面には【】が表示されます。

受話器/ヘッドセット/スピーカーの音量を調節する

受話器、ヘッドセット、またはハンズフリーでの通話中に、【+】または【-】を押す

2- 発信

この章では、電話のかけ方について説明します。

電話をかける

- ① 待機中に、受話器を取る
- ② 電話番号を入力する(最大32桁)
- ③ 【決定】か【呼出】を押す。または、電話がかかるまで数秒待つ
- ④ 通話が終わったら、受話器を戻す

電話番号を確認してから電話をかける(プリセットダイヤル)

待機中、受話器を置いたまま電話をかけることができます。

- ・ 入力した番号を削除するには、【クリア】を押してください。
- ・ 番号をすべて削除するには、【クリア】を長押ししてください。
- ・ 電話をかけるには、受話器を取るか【決定】を押してください。

■ 2.1 内線発信

内線に電話をかける(同一の拠点番号の内線への電話)

発信者と同じ拠点番号の内線に電話をかける方法です。

- ① 待機中に、受話器を取る
- ② 端末番号を入力する
- ③ 【決定】か【呼出】を押す。または、電話がかかるまで数秒待つ
- ④ 通話が終わったら、受話器を戻す

内線に電話をかける(異なる拠点番号の内線への電話)

発信者と違う拠点番号の内線に電話をかける方法です。

- ① 待機中に、受話器を取る
- ② (通話先)の拠点番号と端末番号を入力する
- ③ 【決定】か【呼出】を押す。または、電話がかかるまで数秒待つ
- ④ 通話が終わったら、受話器を戻す

お知らせ

- ・ 内線番号は、1～11桁の拠点番号 + 2～11桁の端末番号で構成される最大22桁の数字になります。

■ 2.2 外線発信

外線電話をかける

- ① 待機中に、受話器を取る
- ② 外線発信用の特番0に続き、外線番号をダイヤルする。
※Web設定変更サイトの外線Prefix設定において「0+外線番号で発信」を選択している場合に限り、設定していない場合は、外線番号のみをダイヤルします。
- ③ 【決定】か【呼出】を押す。または、電話がかかるとまで数秒待つ
- ④ 通話が終わったら、受話器を戻す

■ 2.3 短縮発信 (KX-HDV230Nのみ)

フレキシブル機能キーにワンタッチ(短縮ダイヤル)の設定をしている場合は、ワンタッチが設定されたフレキシブル機能キーを使って簡単に電話をかけることができます。

- ① 受話器を取り、ワンタッチが設定されたフレキシブル機能キーを押す
- ② 通話が終わったら、受話器を戻す

■ 2.4 履歴発信

通話履歴から電話をかける

発信履歴と着信履歴は、それぞれ新しい順に30件ずつ記憶されています。着信履歴のうち不在着信は不在着信履歴にも表示されます。

通話履歴にある電話番号に電話をかけることができます。

- ① 【履歴】を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して通話履歴の種類を選択し、【決定】を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して電話をかけたい連絡先を選択する
- ④ 受話器を取る
- ⑤ 通話が終わったら、受話器を戻す

■ 2.5 再ダイヤルをする

最後にかけた電話番号に、再度電話をかけることができます

- ① 【再ダイヤル】を押す
- ② 通話が終わったら、受話器を戻す

3- 着信

この章では、電話の受け方について説明します

電話を受ける

- ① 受話器を取る
- ② 通話が終わったら、受話器を戻す

自動応答を設定する

着信があった場合に、自動的に応答することができます。
呼び出し音が5秒鳴った後、自動的に通話が開始されます。

- ・ 自動応答を設定する：
待機中に[ミュート/自動応答]を押して、「自動応答 設定」を表示する。
- ・ 自動応答を解除する：
待機中に[ミュート/自動応答]を押して、「自動応答 解除」を表示する。

お知らせ

- ・ 自動応答が設定されているときは、待機中に【自動応答】が表示されます。

■ 3.1 着信拒否

電話がかかってきても着信をしないようにしたり、ある特定の番号からの着信をうけないように設定できます

着信中に電話を拒否する

- ① 着信中に【拒否】を押す

3.1.1 特定番号着信拒否

特定の電話番号からの着信を拒否することができます

お知らせ

- ・ 着信を拒否した電話番号は、着信履歴または不在着信履歴には記憶されません

電話番号を登録する

- ・ 着信を拒否した電話番号を、着信拒否番号リストに最大30件まで登録することができます。
- ① 待機中に[メニュー]を押す
 - ② 【▲】または【▼】を押して「基本設定」を選択し、[決定]を押す
 - ③ 【▲】または【▼】を押して「通話設定」を選択し、[決定]を押す
 - ④ 【▲】または【▼】を押して「着信拒否(番号)」を選択し、[決定]を押す
 - ⑤ 【▲】または【▼】を押して空白行を選択し、[メニュー]を押す
 - ⑥ 【▲】または【▼】を押して「編集」を選択し、[決定]を押す
 - ⑦ 電話番号を入力し(最大32桁)[保存]を押す

お知らせ

- ・ 続けて他の電話番号を登録する場合は、手順⑤からの操作を繰り返します。

着信履歴または不在着信履歴にある番号を登録する

・ 着信履歴または不在着信履歴から電話番号を登録することが出来ます。

- ①待機中に[履歴]を押す
- ②[▲]または[▼]を押して「着信履歴」または「不在着信」を選択し、[決定]を押す
- ③[▲]または[▼]を押して着信を拒否したい電話番号を選択し、[メニュー]を押す
- ④[▲]または[▼]を押して「着信拒否(番号)」を選択し、[決定]を押す
- ⑤[▲]または[▼]を押して空白行を選択し、[メニュー]を押す
- ⑥[▲]または[▼]を押して「編集」を選択し、[決定]を押す
- ⑦電話番号を入力し(最大32桁)[保存]を押す

お知らせ

- ・ 1分間ボタン操作がない場合は、待機画面に戻ります。

登録した電話番号を編集する

- ①待機中に[メニュー]を押す
- ②[▲]または[▼]を押して「基本設定」を選択し、[決定]を押す
- ③[▲]または[▼]を押して「通話設定」を選択し、[決定]を押す
- ④[▲]または[▼]を押して「着信拒否(番号)」を選択し、[決定]を押す
- ⑤[▲]または[▼]を押して電話番号を選択し、[メニュー]を押す
- ⑥[▲]または[▼]を押して「編集」を選択し、[決定]を押す
- ⑦電話番号を編集入力し(最大32桁)[保存]を押す

お知らせ

- ・ 1分間ボタン操作がない場合は、待機画面に戻ります。

登録した電話番号を削除する

- ①待機中に[メニュー]を押す
- ②[▲]または[▼]を押して「基本設定」を選択し、[決定]を押す
- ③[▲]または[▼]を押して「通話設定」を選択し、[決定]を押す
- ④[▲]または[▼]を押して「着信拒否(番号)」を選択し、[決定]を押す
- ⑤[▲]または[▼]を押して電話番号を選択し、[メニュー]を押す
- ⑥[▲]または[▼]を押して「番号消去」を選択し、[決定]を押す
- ⑦[▲]または[▼]を押して「はい」を選択し、[決定]を押す

お知らせ

- ・ すべての連絡先を削除するには、手順⑥で「番号消去」の代わりに「全番号消去」を選択してください。

■ 3.2 不在着信の表示

- ①待機中に[←]を押す
- ②[▲]または[▼]を押して「不在着信」を選択し、[決定]を押す
- ③[▲]または[▼]を押して不在着信を選択する

お知らせ

- ・ 着信履歴画面では、これまで履歴を表示させていなかった不在着信は「新着：未応答」、これまでに履歴を表示させた不在着信は「旧着：未応答」、応答済みの着信は「旧着：応答済」と表示されます。

4- 保留

■ 4.1 通話中保留

通話中の電話を保留にすることができます。

- ① 【保留】を押し、受話器を戻す

お知らせ

- ・ 保留にしたままで60秒が過ぎると、再度呼出音が鳴ります。
- ・ KX-HDV230では、待機中(消灯)又は着信中(青点滅 [速])のフレキシブル機能キーを押して、現在の通話を保留することができます。

■ 4.2 保留電話への応答

保留中の電話に応答します。

- ① 受話器を取る
- ② 【保留】を押す
 - ・ 受話器を取った状態のときは、受話器を戻して、【保留】を押してください。

お知らせ

- ・ 保留にしたままで60秒が過ぎると、再度呼出音が鳴ります。

5- コールピックアップ/パーク保留

■ 5.1 コールピックアップ

コールピックアップ (用語集「コールピックアップとは…」を参照)

コールピックアップの方法

下記のいずれかの方法でコールピックアップが行えます。

- ・ コールピックアップ特番 * 4 をダイヤルし、代理応答する
- ・ 点滅しているコールピックアップボタン (下図①の赤実線部分) を押し、代理応答する
(電話機のフレキシブル機能キーにコールピックアップボタンが設定されているKX-HDV230Nのみ)

● コールピックアップ特番 * 4 をダイヤルし、代理応答する

- ① 待機中に受話器を取る
- ② コールピックアップ特番 * 4 をダイヤル
- ③ 【決定】か【呼出】を押す。または、電話がかかるとまで数秒待つ
- ④ ②をダイヤルした端末にて、呼び出し音が鳴っている端末へのコールに対しての代理応答をする

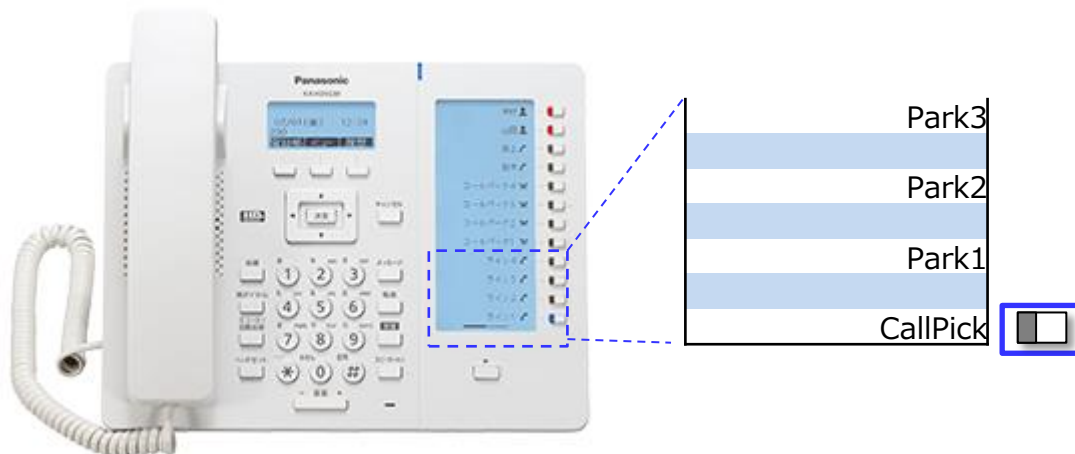
● コールピックアップボタンを押し、代理応答する(KX-HDV230Nのみ)

- ① 待機中に、受話器を取る
- ② コールピックアップが設定された使用中(赤点滅[遅])のフレキシブル機能キー (下図①の赤実線部分) を押す

お知らせ

- ・ コールピックアップボタンにより代理応答する場合、代理応答する端末は、呼び出し先(着信先)の番号を判別できません。
- ・ コールピックアップグループが異なる内線への代理応答はできません。
- ・ セルフラベリング液晶表示部(下図23)、2ページ目が表示されている場合はページキー(下図22)で1ページ目に切り替えてからピックアップを押す必要がある

(図①)



■ 5.2 パーク保留

パーク保留 (用語集「パーク保留とは…」を参照)

5.2.1 パーク保留をする

- ① 通話中に、パーク保留用特番 * 3 をダイヤルします。
KX-HDV230Nの場合、液晶表示部の【パーク】を押してパーク保留することができます。
- ② 「100X (Xは1～3)番」と、パーク保留応答特番のガイダンスが流れます。

お知らせ

- ・パーク保留を実施した方は、パーク保留中の電話に回答していただきたい方に、上記②のパーク応答特番(ガイダンスにて案内された「100X (Xは1～3)番」を伝えてください)

5.2.2 パーク保留中の電話に回答する

パーク保留中の電話への応答方法

下記のいずれかの方法でパーク保留中の電話への応答が行えます。

- ・パーク応答特番 (ガイダンスにて案内された「100X (Xは1～3)番」) をダイヤルし、代理応答する
- ・KX-HDV230Nの場合、パーク応答ボタン (次頁図②の赤実線部分) を押し、代理応答することができます。

●パーク応答特番「100X (Xは1～3)番」をダイヤルし、代理応答する

- ① パーク応答特番案内された「100X (Xは1～3)番」をダイヤル
- ② 受話器を取る
- ③ 【決定】か【呼出】を押す。または、電話がかかるとまで数秒待つ

【注意事項】

- ・パーク保留の解除を行う際は、電話機を上げる前に、フレキシブル機能キーの操作を行いパーク保留の解除を行ってください。

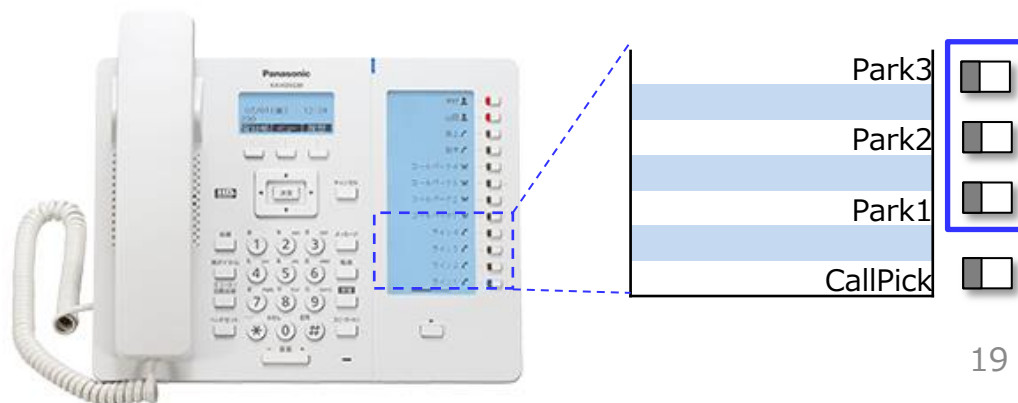
●パーク応答ボタンを押し、代理応答する(KX-HDV230Nのみ)

- ① 案内されたパーク応答ボタン (下図②の赤実線部分) を押す
- ② 受話器を取る

お知らせ

- ・パーク保留の保留時間は45秒です。保留時間を過ぎると、パーク保留を起動した端末が再度呼び出されますので、必要に応じてパーク保留をやり直してください。
- ・パーク保留は3コールまで使用することができます。
- ・パーク保留時間45秒後、コールウェイティング無効設定時で通話中の場合、Busy扱いになります。

(図②)



6- 転送

別の電話(内線または外線)へ、電話を転送することができます。

■ 6.1 保留転送

- ① 通話中に、【転送】を押す
- ② 転送したい相手に電話をかける
- ③ 転送先が応答するのを待つ
- ④ 応答が確認できたら【実行】を押す

お知らせ

- ・ ②の転送先番号として、内線番号、外線番号を指定可能です。
- ・ ②を行った後に、転送先番号を間違えた場合、【キャンセル】を2回押せばもとの通話に戻ります。
- ・ 保留転送先の端末が留守番電話モードの場合に、保留転送を行った端末が、転送操作(上記④)を行った後に電話を切ってしまった場合は、発信者側の伝言が、保留転送先の留守番電話メッセージとして録音されます。
- ・ 保留転送先の端末が留守番電話モードだった場合に保留転送を取消したいときは、【転送】を押してください。

■ 6.2 ブラインド転送

転送先が応答する前に転送する(ブラインド転送)

- ① 通話中に【ブラインド】を押す
- ② 転送したい相手に電話をかける
- ③ 受話器を戻す

お知らせ

- ・ ②の転送先番号として、内線番号、外線番号を指定可能です。
- ・ ②を行った後に、転送先番号を間違えた場合、再度①から操作をやり直すことは可能です。
- ・ 転送相手に転送できない場合は、発信者との通話が継続されます。
- ・ 無応答転送/話中転送/無条件転送/圏外転送については『Arcstar SmartPBX Web設定変更サイトマニュアル』を参照してください。

7- 留守番電話

外出時に備えて、内線番号ごとに留守番電話を利用できます。

■ 7.1 留守番電話

● 自端末および他端末から留守番電話を確認する

- ① 受話器を取る
- ② 留守番電話アクセス番号 * 5 をダイヤル
- ③ ガイダンスに伴い内線番号を入力
- ③ ガイダンスに伴い暗証番号XXXX（Arcstar Smart PBX Web設定変更サイトで確認可能）を入力
- ④ 留守番電話メッセージを聞く

お知らせ

- ・ 留守番電話用暗証番号(4～8桁の数字)はArcstar Smart PBX Web設定変更サイトにて確認が可能です。
- ・ 留守番電話用暗証番号は変更することができません。
- ・ 留守番電話メッセージは内線端末からのみ聴取可能です。
- ・ 録音された留守番電話メッセージを削除することができます。
- ・ 留守電話メッセージの保存上限数は10件です。
- ・ 留守番メッセージの保存期間は10日間です。
- ・ 録音するメッセージの長さの上限は、120秒/件です。
- ・ 留守番電話の設定は端末ユーザでも設定可能です。

8- 電話帳 (個人電話帳)

■ 8.1 電話帳登録

● 電話帳に連絡先を追加する

- ①待機中に[メニュー]を押す
- ②【▲】または【▼】を押して「電話帳登録」を選択し、[決定]を押す。
- ③名前(最大全角12文字)を入力し、[決定]を押し確定させる。
- ④【▲】または【▼】を押して電話番号の種類(①～⑤)を選択し、[決定]を押す。
- ⑤電話番号を入力し(最大32桁)、[決定]を押す。
- ⑥【▲】または【▼】を押して「グループなし」を選択し、[決定]を押す。
- ⑦グループを選択し、[決定]を押す。
- ⑧優先して使用する番号を設定するには、【▲】または【▼】を押して「優先番号」を選択し、[決定]を押す。
- ⑨【▲】または【▼】を押して優先して使用する番号を選択し、[決定]を押す。

お知らせ

- ・電話番号を追加するには、④及び⑤の手順を繰り返します。
- ・グループに割り当てないときは、⑥及び⑦の手順は不要です。
- ・優先して使用する番号を割り当てない場合は、⑧及び⑨の手順は不要です。
(この場合は、登録に入力した最初の番号が、優先して使用する番号として自動的に割り当てられます。)

● 着信履歴、不在着信履歴または発信履歴から連絡先を追加する

着信履歴、不在着信履歴、または発信履歴を使って、電話帳へ連絡先を追加することができます。

- ①待機中に着信履歴、不在着信履歴、または発信履歴を表示する
- ②【▲】または【▼】を押して登録したい電話番号を選択した後で、[決定]を押す。
- ③【▲】または【▼】を押して「電話帳登録」を選択し、[決定]を押す。
- ④名前(最大全角12文字)を入力し、[決定]を押し確定させる。
- ⑤【▲】または【▼】を押して電話番号の種類(①～⑤)を選択し、[決定]を押す。
- ⑥必要に応じて電話番号を編集し(最大32桁)、[決定]を押す。
- ⑦【▲】または【▼】を押して「グループなし」を選択し、[決定]を押す。
- ⑧グループを選択し、[決定]を押す。
- ⑨優先して使用する番号を設定するには、【▲】または【▼】を押して「優先番号」を選択し、[決定]を押す。
- ⑩【▲】または【▼】を押して優先して使用する番号を選択し、[決定]を押す。

お知らせ

- ・グループに割り当てないときは、⑦及び⑧の手順は不要です。
- ・優先して使用する番号を割り当てない場合は、⑨及び⑩の手順は不要です。
(この場合は、登録に入力した最初の番号が、優先して使用する番号として自動的に割り当てられます。)

● 連絡先を編集する

登録済みの連絡先を編集する

- ① 待機中に[電話帳]を押す
- ② [▲]または[▼]を押して「電話帳」を選択し、[決定]を押す
- ③ [検索]を押して、名前（フリガナ）を入力し、[決定]を押す
- ④ [▲]または[▼]を押して編集する連絡先を選択し、[メニュー]を押す
- ⑤ [▲]または[▼]を押して「編集」を選択し、[決定]を押す
- ⑥ [▲]または[▼]を押して、編集したい項目を選択し[決定]を押す
- ⑦ 必要に応じてデータを編集し、[決定]を押す。
- ⑧ 手順⑥から⑦を繰り返し、変更したい項目を選択し[決定]を押す
- ⑨ [保存]を押す

お知らせ

- ・文字や数字を変更するには、[←]または[→]を押してハイライト表示してから、[クリア]で削除し、新しい文字や数字を入力します。
- ・1行全体を削除したいときは、[クリア]を1秒以上長押しします。
- ・カーソルを左または右に動かすときは、それぞれ[←]、[→]を押します。

グループ名を編集する

電話帳にあるグループ名を編集することができます。

- ① 待機中に[メニュー]を押す
- ② [▲]または[▼]を押して「基本設定」を選択し、[決定]を押す
- ③ [▲]または[▼]を押して「表示オプション」を選択し、[決定]を押す
- ④ [▲]または[▼]を押して「グループ名」を選択し、[決定]を押す
- ⑤ [▲]または[▼]を押して編集したいグループ番号(1~9)を選択し、[決定]を押す
- ⑥ グループ名を入力（最大半角13文字）し、[決定]を押す
- ⑦ 手順⑤から⑥を繰り返し、グループ名を編集する

● 連絡先を検索する

名前で検索する

- ① 待機中に[電話帳]を押す
- ② [▲]または[▼]を押して「電話帳」を選択し、[決定]を押す
- ③ [検索]を押して、名前（フリガナ）を入力し、[決定]を押す
- ④ [▲]または[▼]を押して項目を選択し、[決定]を押す
- ⑤ [▲]または[▼]を押して電話をかけたい電話番号を選択する
- ⑥ 受話器をとり、電話をかける

お知らせ

- ・手順④で[▲]または[▼]を長押しすると、次の連絡先または前の連絡先が自動的に表示されます。

グループで検索する

電話帳にある連絡先がグループに割り当てられている場合、グループにより検索ができます。

- ① 待機中に[電話帳]を押す
- ② [▲]または[▼]を押して「電話帳」を選択し、[決定]を押す
- ③ [検索]を押して、[#]を押す
- ④ [▲]または[▼]を押してグループを選択し、[決定]を押す
- ⑤ グループにある連絡先の名前、または名前の最初の文字を入力し、[決定]を押す
- ⑥ [▲]または[▼]を押して項目を選択する
- ⑦ 受話器をとり、電話をかける

● 連絡先を削除する

- ① 待機中に[電話帳]を押す
- ② [▲]または[▼]を押して「電話帳」を選択し、[決定]を押す
- ③ [検索]を押して、名前（フリガナ）を入力し、[決定]を押す
- ④ [▲]または[▼]を押して削除したい連絡先を選択する
- ⑤ [メニュー]
- ⑥ [▲]または[▼]を押して「番号消去」を選択し、[決定]を押す
- ⑦ [▲]または[▼]を押して「はい」を選択し、[決定]を押す

お知らせ

- ・すべての連絡先を削除するには、手順⑥で「番号消去」の代わりに「全消去」を選択してください。

■ 8.2 電話帳のインポート/エクスポート

● 電話帳インポート

※この画面では、電話帳データをパソコンから指定の電話機にインポートします。
 詳細は、別冊の取扱い説明書（プログラム編）を下記URLよりダウンロードしてご参照下さい。
 【URL】<https://panasonic.biz/cns/netsys/sipphone/support/download/>

※電話帳インポート用データ作成手順は、【8.3 電話帳インポート用データ作成手順】を参照下さい。

お知らせ

- ・ インポートする電話機の電話帳に氏名と電話番号が同じ連絡先が既に存在する場合、その連絡先は追加されません。
- ・ 電話帳データのインポートを開始すると、【ファイル処理中】画面が表示されます。この画面は定期的に更新されます。ただし、一部のWebブラウザでは自動的に画面は更新されません。この場合、画面がタイムアウトする前に、【ここ】をクリックすると、インポートが正しく実行されます。



説明	パソコンからインポートするTSV（タブ区切り形式）ファイルのパスを指定します。
設定値	制限なし お知らせ <ul style="list-style-type: none"> ・ フィールドエントリの長さに制限はありません。ただし、パスの長さは256文字未満にする事を推奨します。これよりも長いパスを指定するとデータ転送に時間がかかり、内部エラーが発生する場合があります。
初期値	なし

■ 8.2 電話帳のインポート/エクスポート

● 電話帳エクスポート

※この画面では、電話機に保存されている電話帳データをTSV形式のファイルとしてパソコンに保存します。
詳細は、別冊の取扱い説明書（プログラム編）を下記URLよりダウンロードしてご参照下さい。
【URL】<https://panasonic.biz/cns/netsys/sipphone/support/download/>

お知らせ

- 電話帳データのエクスポートを開始すると、【ファイル処理中】画面が表示されます。この画面は定期的に更新されます。メッセージの【ここ】をクリックすると、【電話帳エクスポート】画面が再度開きます。クリックしないと、エクスポートが完了した後も【ファイル処理中】画面は開いたままになります。一部のWebブラウザでは、画面は自動的に更新されません。この場合、画面がタイムアウトする前に【ここ】をクリックすると、エクスポートが正しく実行されます。
- Webブラウザのセキュリティ設定によっては、エクスポート中にポップアップメニューがブロックされる事があります。ポップアップブロック設定が有効になっていると、セキュリティの警告ウィンドウが開きエクスポートが正しく実行されない可能性があります。この場合、エクスポートを再度実行するか、Webブラウザのポップアップブロック機能を無効にして下さい。



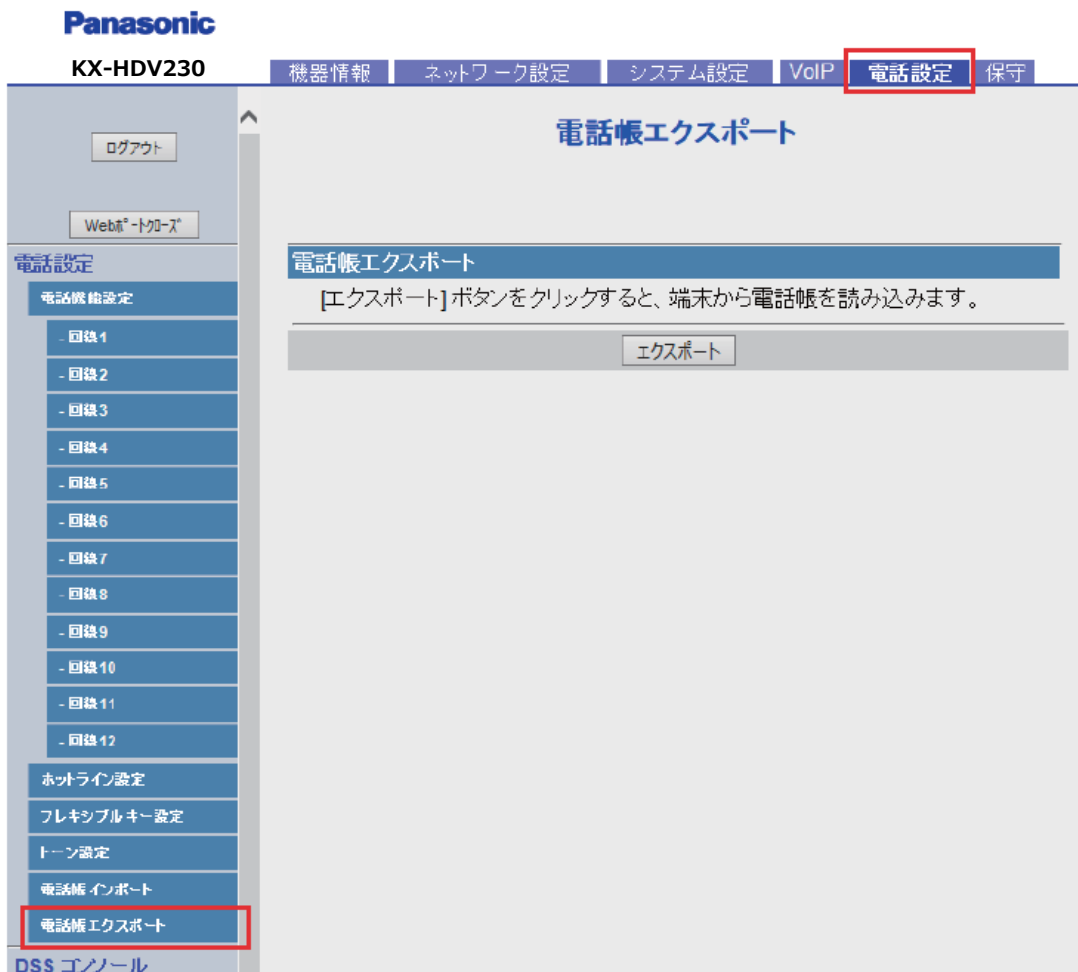
The screenshot displays the Panasonic KX-HDV230 web interface. At the top, the Panasonic logo and model number 'KX-HDV230' are visible. A navigation bar includes '機器情報', 'ネットワーク設定', 'システム設定', 'VoIP', '電話設定', and '保守'. The '電話設定' (Phone Settings) menu item is highlighted with a red box. Below this, the '電話帳インポート' (Phone Book Import) screen is shown. The main content area has a title '電話帳インポート' and a form with a text input field for 'インポートファイル名' (Import File Name) and a '参照...' (Reference...) button. Below the input field is an 'インポート' (Import) button. On the left sidebar, under the '電話設定' (Phone Settings) section, the '電話帳 インポート' (Phone Book Import) option is highlighted with a red box. Other options in the sidebar include 'ログアウト', 'Web*トランス', '電話機 始設定', 'ホットライン設定', 'フレキシブルキー設定', 'トーン設定', and '電話帳エクスポート'.

■ 8.3 電話帳インポート用データ作成手順

- ① 電話帳データをエクスポートする
- ② テキストエディタで電話帳データを開く
- ③ テキストエディタで電話帳データを編集する
- ④ 電話帳データをUTF-8形式で保存する

① 電話帳データをエクスポートする

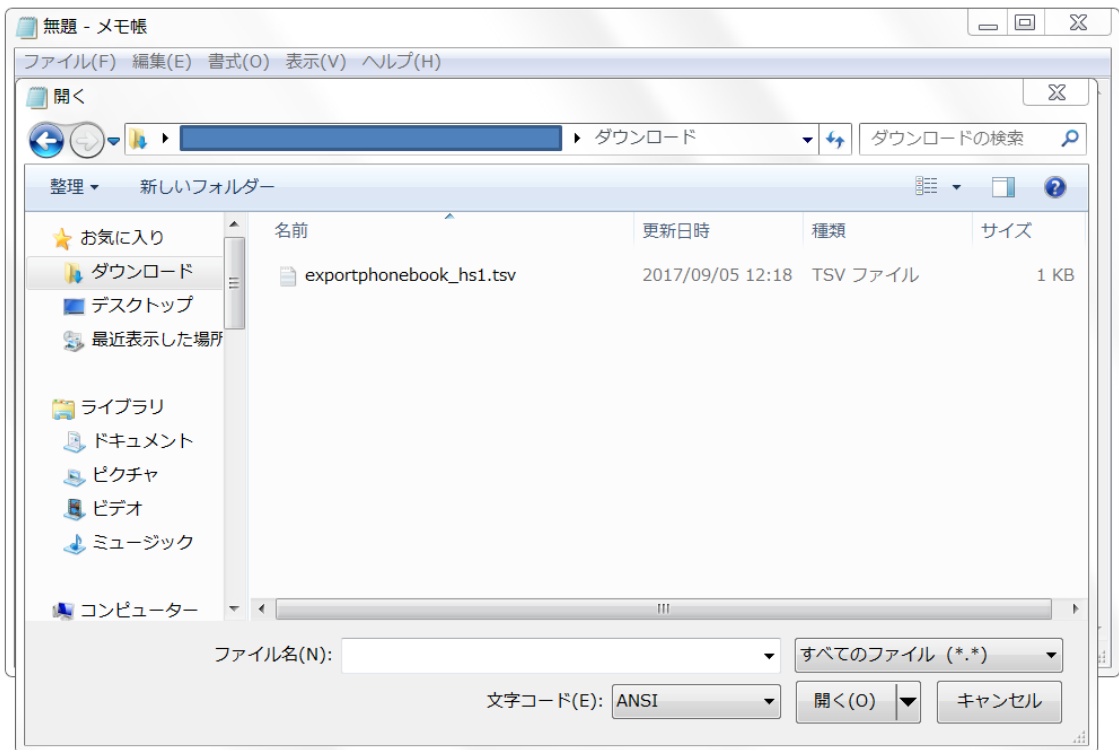
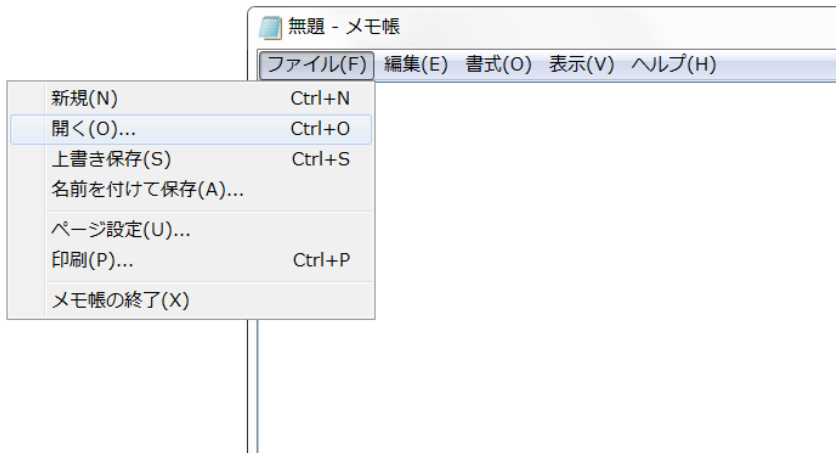
この画面で、電話機に保存されている電話帳データをTSV形式のファイルとして、パソコンに保存します。
→ exportphonebook_hs1.tsv



The screenshot shows the Panasonic KX-HDV230 web interface. The top navigation bar includes '機器情報', 'ネットワーク設定', 'システム設定', 'VoIP', '電話設定', and '保守'. The '電話設定' (Phone Settings) menu is highlighted with a red box. On the left sidebar, the '電話帳エクスポート' (Export Phonebook) option is also highlighted with a red box. The main content area is titled '電話帳エクスポート' and contains the following text: '電話帳エクスポート' followed by '[エクスポート] ボタンをクリックすると、端末から電話帳を読み込みます。' (Clicking the [Export] button will load the phonebook from the device). Below this text is a button labeled 'エクスポート' (Export).

② テキストエディタで電話帳データを開く

前頁（電話帳エクスポート手順）で取得した「exportphonebook_hs1.tsv」をテキストエディタでファイルを開く。（例：Windows メモ帳）



③ テキストエディタで電話帳データを編集する

電話帳データ「exportphonebook_hs1.tsv」を下記項目に従い、編集する。

テキスト形式の電話帳データ

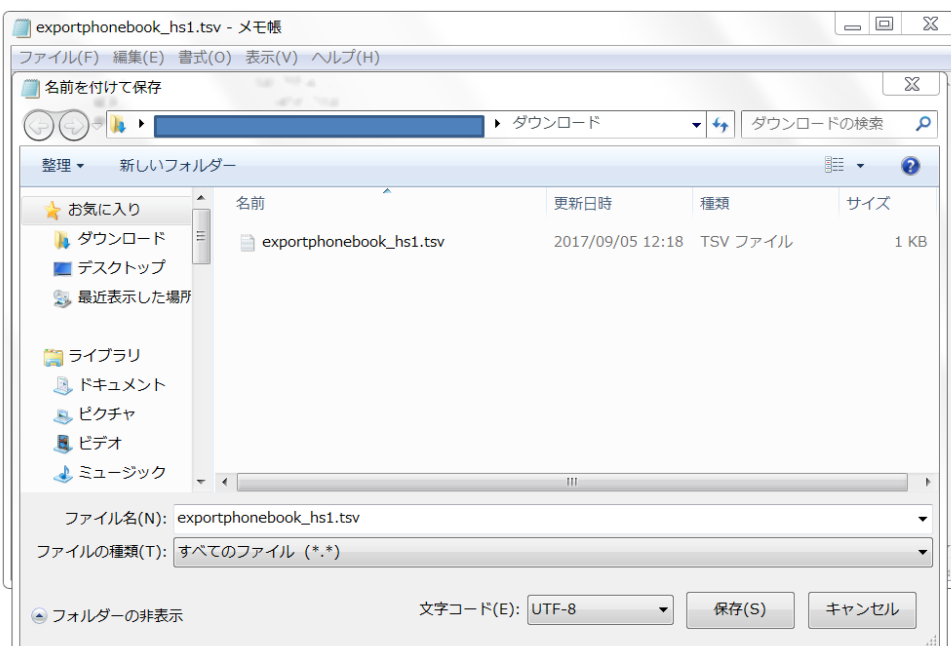
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1		松下 太郎		マツタ タロウ		0987654										1
2		松下 花子		マツタ ハナコ		0987653										2
3																
4																
...	
...	

- ① レコード ID (固有の ID : 1~500)
- ② タブ
- ③ 名前 (全角で最大 12 文字または半角で最大 24 文字)
- ④ タブ
- ⑤ フリガナ (半角で最大 24 文字)
- ⑥ タブ
- ⑦ 電話番号 (最大 32 桁)
- ⑧ タブ
- ⑨ 電話番号 (最大 32 桁)
- ⑩ タブ
- ⑪ 電話番号 (最大 32 桁)
- ⑫ タブ
- ⑬ 電話番号 (最大 32 桁)
- ⑭ タブ
- ⑮ 電話番号 (最大 32 桁)
- ⑯ タブ
- ⑰ グループ (1~32)

④ 電話帳データをUTF-8形式で保存する

電話帳データ「exportphonebook_hs1.tsv」をUTF-8形式で保存する。

例：Windows メモ帳



■ 8.4 電話帳から発信

● 電話帳から電話をかける

- ① 【電話帳】を押す
- ② 【▲】または【▼】を押し、連絡先を選択する
- ③ 受話器を取る
- ④ 通話が終わったら、受話器を戻す

お知らせ

- KX-UT230Nでは、手順③で待機中(消灯)のフレキシブル機能キーを押して電話をかけることもできます。
- 1件の連絡先に対して複数の電話番号が登録されている場合、手順②で【番号】を押して、かけたい電話番号を選択してください。

● 名前で検索する

- ① 【電話帳】を押す
- ② 【検索】を押す
- ③ 検索したい名前(フリガナ)を入力する(最大24文字)
- ④ 【決定】を押す
検索条件に合った連絡先が表示されます。
- ⑤ 受話器を取る
- ⑥ 通話が終わったら、受話器を戻す

お知らせ

- 1件の連絡先に対して複数の電話番号が登録されている場合、手順④で【番号】を押して、かけたい電話番号を選択してください。
- 1分間ボタンの操作が無い場合は、待機画面に戻ります。

■ 8.5 文字入力のしかた

文字や数字の入力には、ダイヤルキーを使用します。各ダイヤルキーには複数の文字が割り当てられています。

文字を入力するには、入力したい文字が表示されるまで対応するダイヤルキーを押します。

同じキーに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、【→】を押してカーソルを右に移動させます。

例

「すすき」と入力するには、以下のようにキーを押します。

入力:	3	3	3	▶	3	3	3	*	2	2
表示:	さ	し	す	す	すさ	すし	すす	すす	すすか	すすき

各キーに割り当てられた文字についてはP○○を参照

入力した文字を変換する

【変換】を押して、入力した文字を変換できます。

すすき	▶	変換	▶	鈴木	▶	【決定】
-----	---	----	---	----	---	------

お知らせ

- ・【変換】を繰り返し押すと、別の変換候補が表示されます。

文字を削除する

【クリア】を押すと、最後に入力した文字が削除されます。

すすき	▶	クリア	▶	すす	■
-----	---	-----	---	----	---

お知らせ

- ・【クリア】を長押しすると、入力したすべての文字を削除します。

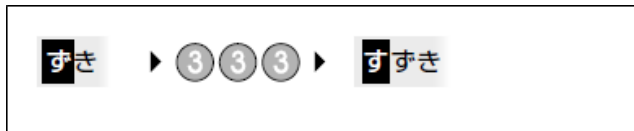
入力した文字を修正する

【←】または【→】を押して修正したい文字にカーソルを動かし、以下のように文字を修正します。

- ・【クリア】を押して、カーソル上の文字を削除する

さ	すすき	▶	クリア	▶	すすき
---	-----	---	-----	---	-----

- ・ダイヤルキーを押してカーソルの位置に文字を挿入する。



全角と半角を切り替える

【全角】または【半角】が表示されている場合は、全角と半角を切り替えて入力することができます。

【全角】または【半角】を押すと、次に入力する文字の全角/半角を切り替えます。

- ・全角カタカナを半角カタカナに切り替えて入力する場合：



・入力モード

入力モードを切り替えて、文字を入力することができます。

入力モードを切り替えるには、【かな漢】/【か】/【ABC】/【123】を押して表示したい入力モードを選択します。

また、【全角】または【半角】を押して、入力モードの全角/半角を切り替えることができます。

使用できる入力モードは、以下のとおりです。

アイコン	説明
	ひらがな入力モード ひらがなと記号が入力できます。入力した文字を漢字に変換することもできます。
	カタカナ（全角）入力モード 全角カタカナと記号が入力できます。
	カタカナ（半角）入力モード 半角カタカナと記号が入力できます。
	アルファベット（半角）入力モード 半角アルファベットと記号が入力できます。
	アルファベット（全角）入力モード 全角アルファベットと記号が入力できます。
	数字（半角）入力モード 半角数字と記号が入力できます。
	数字（全角）入力モード 全角数字と記号が入力できます。

- ・入力するデータの種類によっては、入力モードを切り替えることが出来ない場合があります。

例：電話番号入力時には、数字モードしか使用できません。

入力可能文字一覧

キー	文字入力モード						
	ひらがな	カタカナ (全角)	カタカナ (半角)	アルファベット (半角)	アルファベット (全角)	数字 (半角)	数字 (全角)
①	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	アイウイオ アイウイオ	-	-	1	1
②	かきくけこ	カキクケコ	カキクケコ	ABCabc	ABCabc	2	2
③	さしすせそ	サシスセソ	サシスセソ	DEFdef	DEFdef	3	3
④	たちつてとっ	タチツテトツ	タチツテトツ	GHIghi	GHIghi	4	4
⑤	なにぬねの	ナニヌネノ	ナニヌネノ	JKLjkl	JKLjkl	5	5
⑥	はひふへほ	ハヒフヘホ	ハヒフヘホ	MNOmno	MNOmno	6	6
⑦	まみむめも	マミムメモ	マミムメモ	PQRSpqrs	PQRSpqrs	7	7
⑧	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	ヤユヨヤユヨ	TUVtuv	TUVtuv	8	8
⑨	らりるれろ	ラリルレロ	ラリルレロ	WXYZwxyz	WXYZwxyz	9	9
⑩	わをん	ワヲン	ワヲン	-	-	0	0
*	**	**	**	*,-@/_/~ ./: * . -@/_/~ _/ : ~		*	*
#	、。ー・！？ <全角スペース>	、。ー・！？ <全角スペース>	..-·!? <半角ス #(),!/?+=\$%^ <半角スペース>	&(# () , ! ? + =) ¥ & (\$ % ^ ` ' = <全角スペース>		#	#

9- マルチライン(KX-HDV230Nのみ)

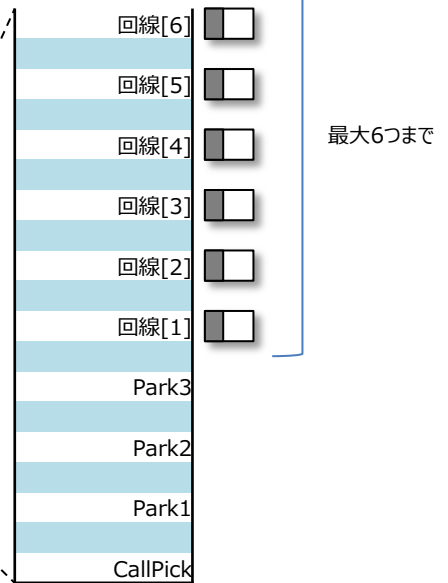
※ この機能はオフィス構築セットのメニューとなります。

■ 9.1 マルチラインとは

電話機に複数の番号を登録して利用できる機能です。



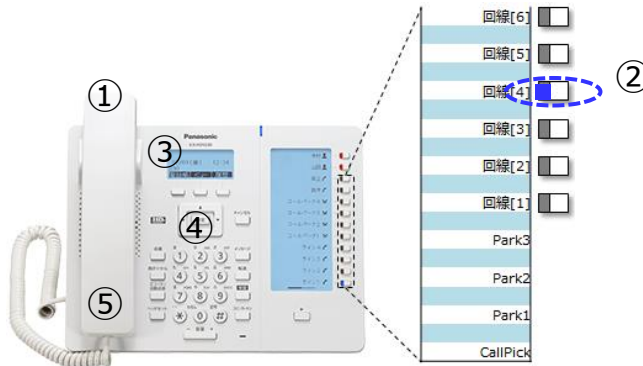
KX-HDV230N



■ 9.2 発信

電話をかける

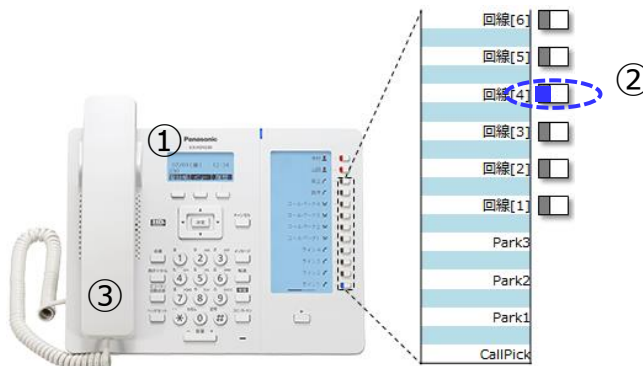
- ① 待機中に受話器を取る
- ② 使用可能な回線のフレキシブル機能キーを押す
- ③ 電話番号を入力する(最大32桁)
- ④ 【決定】か【呼出】を押す。または電話がかかるまで数秒待つ
- ⑤ 通話が終わったら受話器を戻す



電話番号を確認してから電話をかける(プリセットダイヤル)

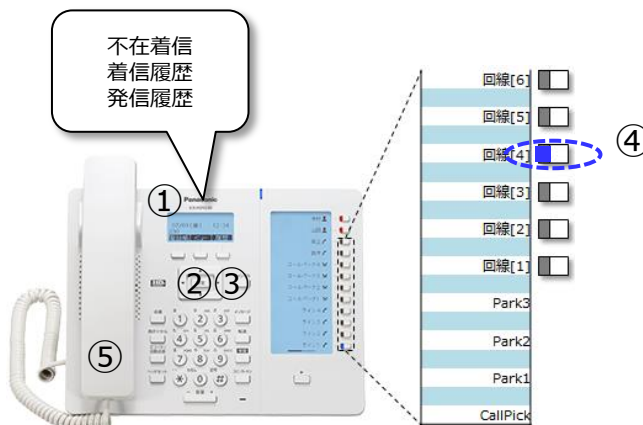
待機中、受話器を置いたまま電話をかけることができます

- ① 電話番号を入力する(最大32桁)。入力した番号を削除するには、【クリア】を押してください
- ② 使用可能な回線のフレキシブル機能キーを押す
- ③ 通話が終わったら受話器を戻す



通話履歴から電話をかける

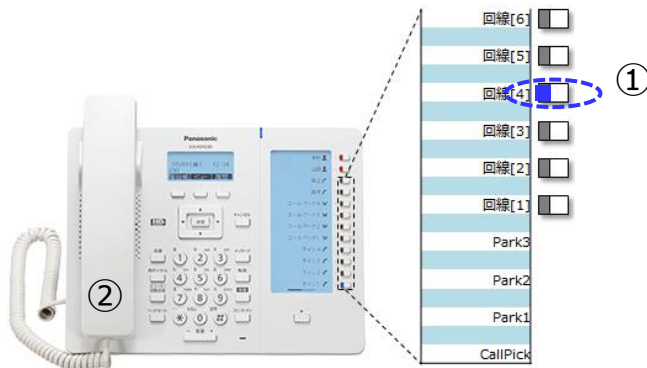
- ① 【履歴】を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して通話履歴の種類を選択し、【決定】を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して電話をかけたい連絡先を選択する
- ④ 待機中(消灯)のフレキシブル機能キーを押してください
- ⑤ 通話が終わったら、受話器を戻す



■ 9.3 着信

電話を受ける

- ① 青点滅しているフレキシブル機能キーを押してください
- ② 通話が終わったら、受話器を戻す



■ 9.4 保留

通話中保留

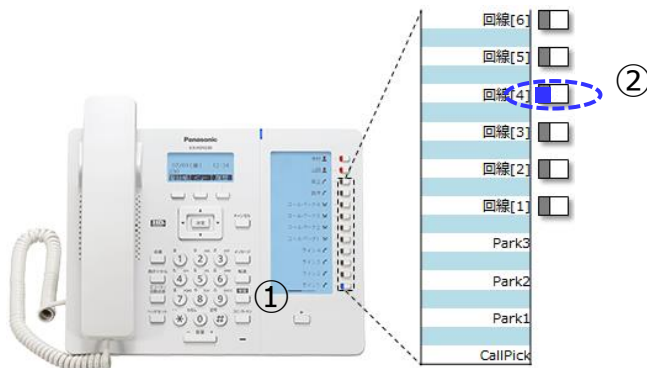
通話中の電話を保留することができます。

- ① 【保留】を押し、受話器を戻す
または待機中(消灯)又は着信中(青点滅[速])のフレキシブル機能キーを押して、現在の通話を保留することもできます。

保留電話への応答

保留中の電話に応答します。

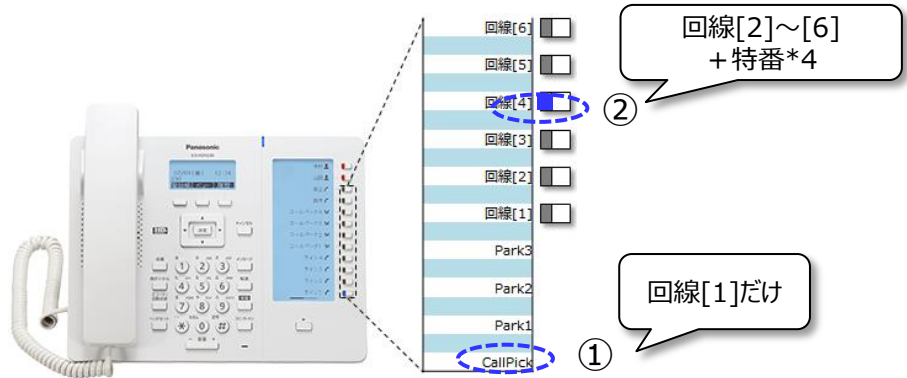
- ② 保留中(青点滅[速])のフレキシブル機能キーを押す



■ 9.5 コールピックアップ/パーク保留

コールピックアップ

- ① フレキシブル機能キー【CallPick】は、回線[1]のコールピックアップだけ取ることができます。
- ② 回線[2]～[6]のコールピックアップは、該当の回線（回線[2]～[6]）を押した後、特番*4で取ってください。



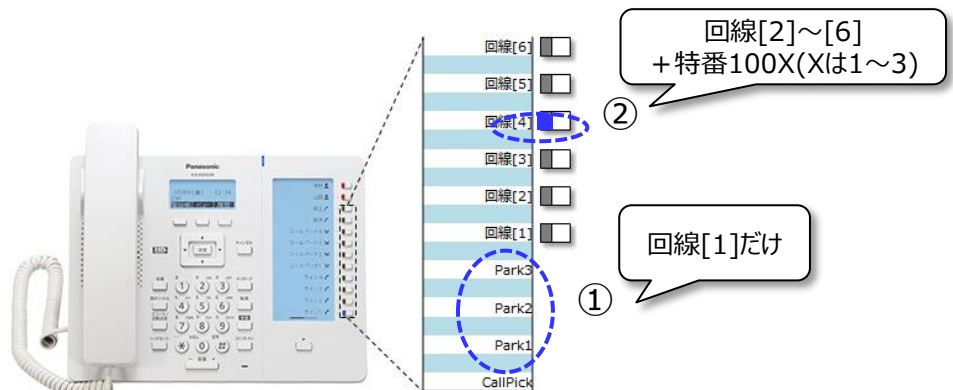
パーク保留

- ・ パーク保留は、ソフトキー【パーク】で取ることができます。



パーク応答

- ① フレキシブル機能キー【Park1～3】は、回線[1]のパーク応答だけ取ることができます。
- ② 回線[2]～[6]のパーク応答は、該当の（回線[2]～[6]）を押した後、パーク応答特番「100X(Xは1～3)番」をダイヤルします。



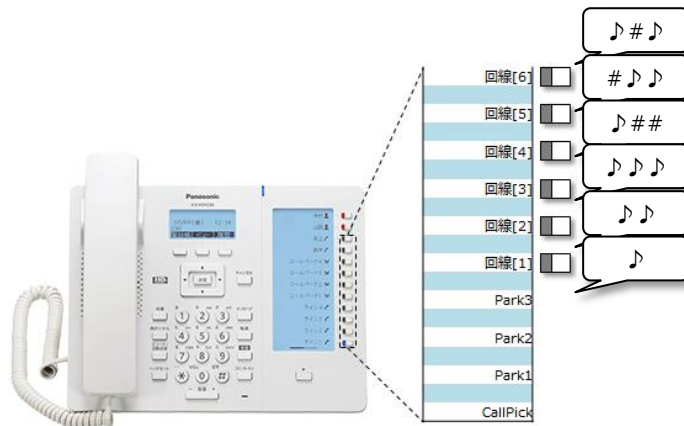
■ 9.6 留守番電話

- ① 留守番電話メッセージがある場合は、メッセージ/リンガーLEDは青点灯し、液晶表示部は「メッセージ」の表示が残ります。
- ② どの回線にメッセージが残ったかは、不在着信（履歴→不在着信）から確認してください。



■ 9.7 その他

- ・ フレキシブル機能キー回線[1]～[6]ごとに着信音を設定することができます。設定は、【10.1 着信音の変更】を参照してください。



10- その他

■ 10.1 着信音の変更

項目	説明	設定できる内容	初期値
着信音量	着信音の音量を調節します。	オフ、レベル1～8	5

- ① 待機中に[メニュー]を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して[基本設定]を選択し、[決定]を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して[着信オプション]を選択し、[決定]を押す
- ④ 【▲】または【▼】を押して[着信音量]を選択し、[決定]を押す
- ⑤ 【▲】または【▼】を押して着信音量[オフ、レベル1～8]を選択し、[決定]を押す

項目	説明	設定できる内容	初期値
着信音色	着信時に使用する着信音を選択します。	オフ、 着信音 1～27	着信音 1（回線 1 の場合） 初期値は回線番号により異なります。

- ① 待機中に[メニュー]を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して[基本設定]を選択し、[決定]を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して[着信オプション]を選択し、[決定]を押す
- ④ 【▲】または【▼】を押して[着信音]を選択し、[決定]を押す
- ⑤ 【▲】または【▼】を押して鳴り分けする[回線[1～6]、プライベート着信音]を選択し、[決定]を押す
- ⑥ 【▲】または【▼】を押して着信音[着信音[1～27、オフ]]を選択し、[決定]を押す

お知らせ

- ・ 着信音20～24が着信音1と同じ着信音です。
- ・ 着信音量が「オフ」になっている場合でも、各着信音を選択して音色を確認することができます。ただし、「自動」を選択した場合は音色を確認できません。
- ・ 着信音は電話帳へ設定することもできます。

■ 10.2 LCDコントラスト

項目	説明	設定できる内容	初期値
LCDコントラスト	画面のコントラスト（濃淡）を調節します。	1～6段階	3

- ① 待機中に[メニュー]を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して[基本設定]を選択し、[決定]を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して[表示オプション]を選択し、[決定]を押す
- ④ 【▲】または【▼】を押して[LCDコントラスト]を選択し、[決定]を押す

■ 10.3 バックライト

項目	説明	設定できる内容	初期値
バックライト	バックライトの設定を変更します。 「自動」または、「オン」を選択してバックライトの明るさを調整します。	自動、オン（レベル1～レベル6）、オフ	自動

- ① 待機中に[メニュー]を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して[基本設定]を選択し、[決定]を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して[表示オプション]を選択し、[決定]を押す
- ④ 【▲】または【▼】を押して[バックライト]を選択し、[決定]を押す

お知らせ

- ・「自動」が選択された場合、電話が待機中になるとバックライトは消灯します。

■ 10.4 パスワード変更

項目	説明	設定できる内容	初期値
パスワード変更	電話帳のロックを解除するためのパスワード（4桁）を変更します。	1. 古いパスワードを入力する 2. 新しいパスワードを入力する 3. 確認用パスワードを入力する	未登録

- ① 待機中に[メニュー]を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して[基本設定]を選択し、[決定]を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して[その他]を選択し、[決定]を押す
- ④ 【▲】または【▼】を押して[パスワード変更]を選択し、[決定]を押す

■ 10.5 インフォメーション表示

項目	説明	設定できる内容	初期値
ステータス	<p>本機のさまざまな情報を確認できます。 【▲】または【▼】を押して設定を表示します。 以下の設定を確認することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回線ステータス ・ファームウェアバージョン ・IPモード ・IPv4設定 ・IPv6設定 ・MACアドレス ・LLDP ・CDP ・VLAN 	—	—

- ① 待機中に[メニュー]を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して[システム設定]を選択し、[決定]を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して[ステータス]を選択し、[決定]を押す

■ 10.6 ネットワーク設定

サブメニュー	説明	設定できる項目		初期値
IP モード選択	電話機のネットワーク設定を変更します。現状の設定はハイライトで表示されます。	IPv4、IPv6、IPv4 & IPv6		IPv4
IPv4 設定	IPv4 に関する設定を行います。	DHCP	自動、 マニュアル (DNS 1、DNS 2)	DHCP - 自動
		アドレス指定	IP アドレス サブネットマスク デフォルトゲートウェイ DNS 1 DNS 2	
IPv6 設定	IPv6 に関する設定を行います。	DHCP	自動、 マニュアル (DNS 1、DNS 2)	DHCP - 自動
		RA	DNS 1 DNS 2	
		アドレス指定	IP アドレス プリフィックス デフォルトゲートウェイ DNS 1 DNS 2	

サブメニュー	説明	設定できる項目		初期値
LLDP	LLDP を設定します。	PC ポート	VLAN ID	0
			プライオリティ	0
		オン		オン
		オフ		
CDP	CDP を設定します。	オン、オフ		オフ
VLAN	VLAN を設定します。	VLAN 設定	はい、いいえ	いいえ
		IP 電話	VLAN ID	2
			プライオリティ	7
		PC	VLAN ID	1
			プライオリティ	0
		通信速度	イーサネットの動作モードを設定します。	IP 電話
PC	自動、 100M 全二重、 100M 半二重、 10M 全二重、 10M 半二重			自動

- ① 待機中に[メニュー]を押す
- ② 【▲】または【▼】を押して[システム設定]を選択し、[決定]を押す
- ③ 【▲】または【▼】を押して[ネットワーク設定]を選択し、[決定]を押す

項目	説明	設定できる内容	初期値
「アドレス自動取得」を選択した場合			
DNS	DNSサーバーを自動で取得するか、手動で設定するかを設定します。「アドレス指定」を選択した場合は、以下「DNS1」および「DNS2」を参照してください。	アドレス指定、 アドレス自動取得	アドレス自動取得
DNS1*1 (DNS手動設定時のみ)	DNSサーバー1のIPアドレスを入力します。	xxx.xxx.xxx.xxx	—
DNS2*1 (DNS手動設定時のみ)	DNSサーバー2のIPアドレスを入力します。 DNSサーバー2が不要な場合は、本設定は設定不要です。	xxx.xxx.xxx.xxx	—
「アドレス指定」を選択した場合			
IPアドレス*1	本機に割り当てるIPアドレスを入力します。	xxx.xxx.xxx.xxx	—
サブネットマスク*1	ご使用のネットワークのサブネットマスクを入力します。	xxx.xxx.xxx.xxx	—
デフォルトゲートウェイ*1	ご使用のネットワークのデフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力します。	xxx.xxx.xxx.xxx	—
DNS1*1	DNSサーバー1のIPアドレスを入力します。	xxx.xxx.xxx.xxx	—
DNS2*1	DNSサーバー2のIPアドレスを入力します。 DNSサーバー2が不要の場合は、本設定は設定不要です。	—	—
LLDP-MED	LLDP-MEDを設定します。	—	—
ON/OFF	LLDP-MED設定を有効にします。	ON/OFF	ON
タイマー	LLDPインターバルタイマーを設定します。	1～3600秒	30
PCポート	VLANを超えてPCを使うために設定します。	—	—
VLAN ID	VLAN IDを設定します。	0～4094	0
プライオリティ	本機が送信するパケットの優先を設定します。	0～7	0

項目	説明	設定できる内容	初期値
VLAN	VLAN設定を行います。	—	—
VLAN設定	VLAN機能を有効にするか選択します。	許可、禁止	禁止
IP電話機	VLANで電話機能を使用する場合に必要な設定を行います。	—	—
VLAN ID	VLAN IDを入力します。	1～4094	2
プライオリティ	本機が送信するパケットの優先度を入力します。	0～7	7
PC側	VLANでパソコンを使用する場合に必要な設定を行います。	—	—
VLAN ID	VLAN IDを入力します。	1～4094	1
プライオリティ	本機が送信するパケットの優先度を入力します。	0～7	0
通信速度/通信方式	LANポートとPCポートの接続モード（通信速度/通信方式）を設定します。	—	—
LANポート	LANポートの接続モードを設定します。	自動 10M全二重 10M半二重 100M全二重 100M半二重	自動
PCポート	PCポートの接続モードを設定します。	自動 10M全二重 10M半二重 100M全二重 100M半二重	自動
内蔵Web	Webプログラミングを有効にします。 （Webプログラミングはユーザ権限のみ利用可能です。管理者権限は利用できません。）	オープン、クローズ	クローズ

■ 10.7 リスタート

項目	説明	設定できる内容	初期値
リスタート	本機を再起動します。	—	—

■ 10.8 内線テストコール

端末の新設時、または接続性の確認のためにシステムとの接続テストを行えます。

- ① 内線テストコール特番 1 2 3 4 をダイヤル
- ② 内線テストコールのガイダンスが流れる
「このサービスは利用可能です」

■ 10.9 本機を接続/設置する

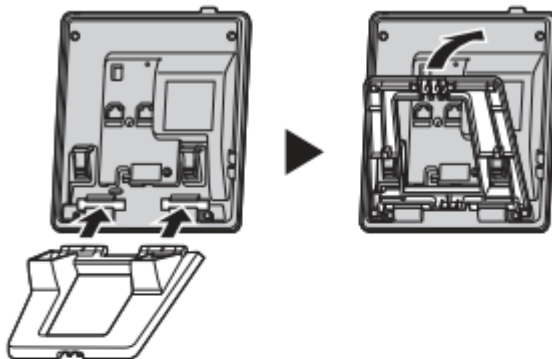
● スタンドを取り付ける

お願い

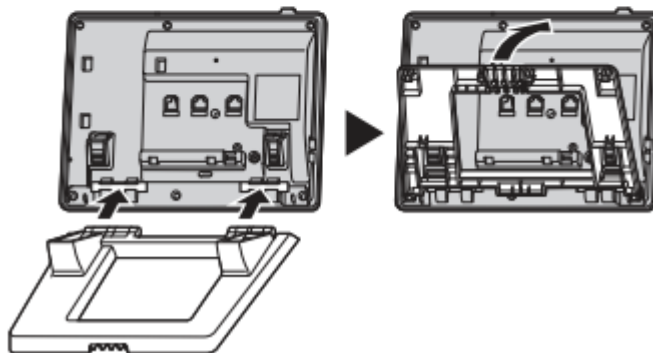
- ・ スタンドを取り付ける際に液晶表示部を下にする場合は、必ず柔らかい布を敷いて作業をしてください。液晶表示部を傷つけるおそれがあります。

1. 本機背面の差し込み口にスタンドを差し込む
2. 矢印の方向にスタンドをゆっくり押し込んで固定する

KX-HDV130N



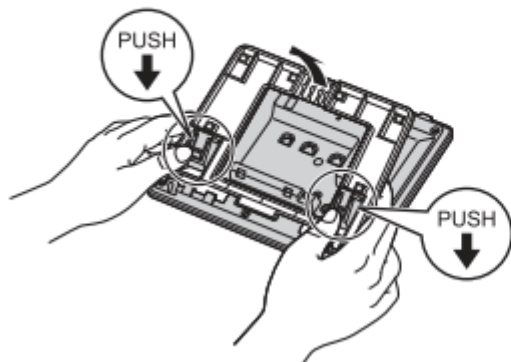
KX-HDV230N



● スタンドを取り外す

スタンドの PUSH マークを両手で押しながら、矢印の方向にスタンドを取り外します。

例：KX-HDV230N

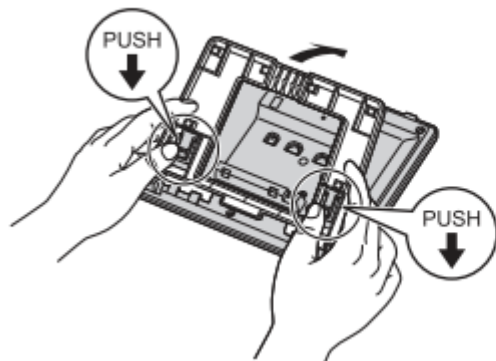


● 本体の角度を調整する

スタンドの PUSH マークを両手で押しながら、スタンドを矢印の方向に傾け、望ましい位置に固定します。

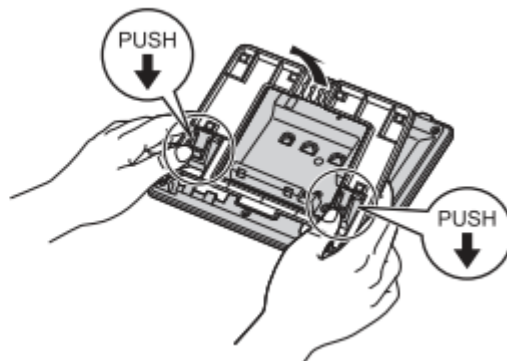
低い位置へ調節する

例：KX-HDV230N



高い位置へ調節する

例：KX-HDV230N

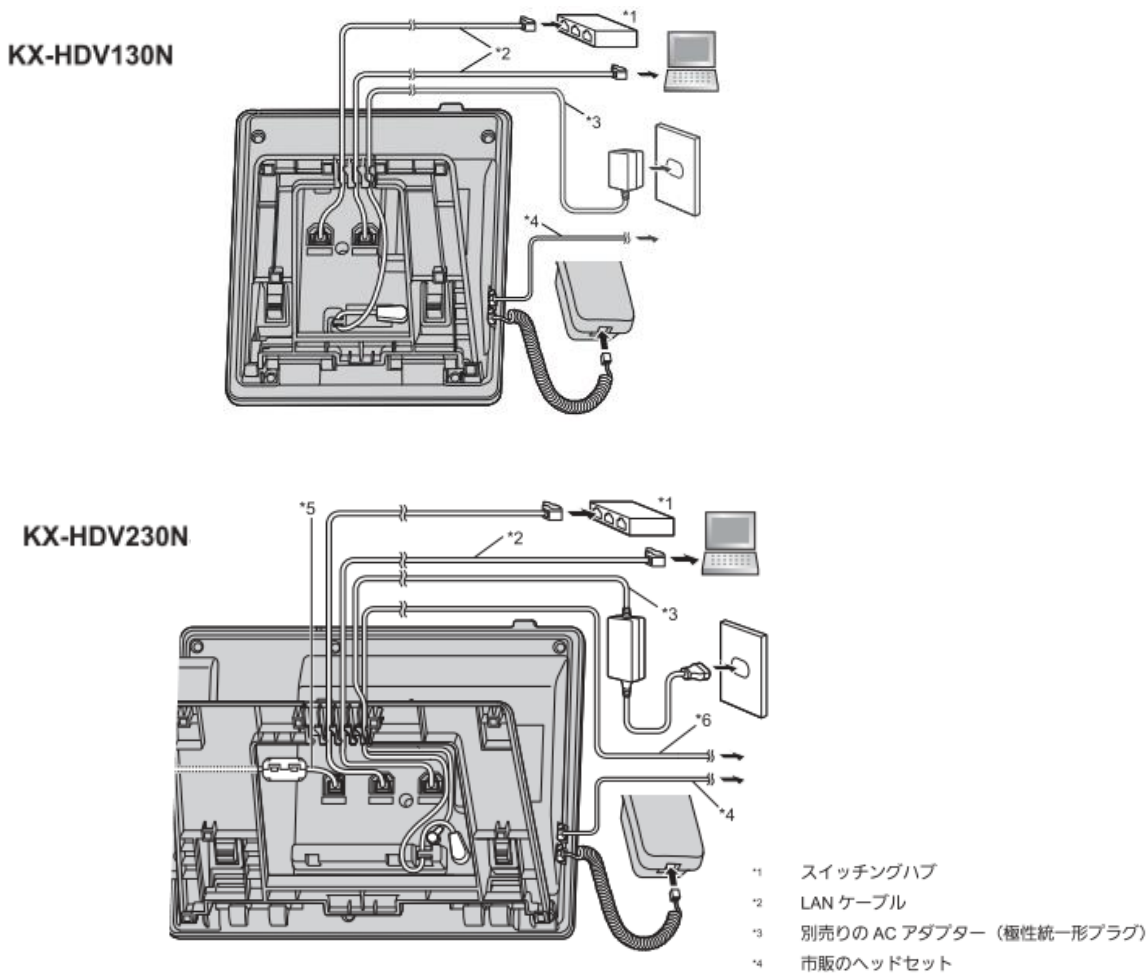


●LANケーブル、ACアダプター、ヘッドセットの接続

お願い

- KX-HDV230N を KX-HDV20N と接続する場合は、AC アダプター（別売品）を使用してください。PoE 給電の場合、KX-HDV20N は動作しません。

LAN ケーブル、受話器コード、AC アダプター（別売品）を本体に接続します。



動作確認済みのヘッドセットの最新情報は、下記サイトでご確認ください。
<http://panasonic.biz/netsys/sipphone/>

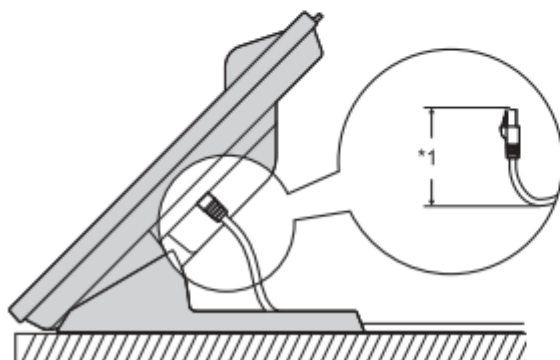
- *5 接続ケーブル
KX-HDV20N に付属の接続ケーブルをつないでください。
- *6 市販の EHS ヘッドセット
動作確認済みの EHS ヘッドセットの最新情報は下記サイトでご確認ください。
<http://panasonic.biz/netsys/sipphone/>

お知らせ

- IP アドレスの初期設定は、「DHCP」の「自動」です。ネットワーク環境に関する情報は、システム管理者にお問い合わせください。

LAN ケーブル（市販品）について

- 直径 6.5 mm 以下のカテゴリ 5e ストレートケーブル（市販品）をご使用ください。
- 柔軟性のある LAN ケーブルを使用してください。
- 表面が硬い LAN ケーブルは、曲げたときに割れたり裂けたりするおそれがありますので使用しないでください。
- LAN ケーブルが損傷しないように、LAN ケーブルは本機の底面から突き出ないようにしてください。
- LAN ケーブルは、次の図のように接続してください。



*1 60 mm以下

スイッチングハブを接続するとき

PoE 給電の場合は、AC アダプターは不要です。

KX-HDV130N：この商品は PoE クラス 1 に対応しています。

KX-HDV230N：この商品は PoE クラス 2 に対応しています。

パソコンの接続について

PC ポートは、PoE に対応していません。

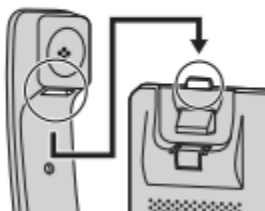
LAN ケーブルと AC アダプターの接続について

LAN ケーブルと AC アダプターコードは、スタンドの下を通してください。

● 受話器を固定する

通話中に受話器を一時的に置くとき

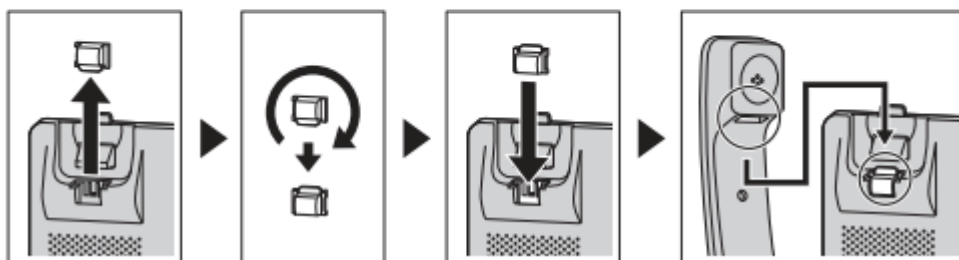
1. 受話器を本機上部のツメに引っ掛ける



● 受話器を固定する

壁掛け設置のとき、以下の手順で受話器を固定することができます。

1. 受話器フックを上を押して抜く
2. 受話器フックを上下逆さまにする
3. 「カチッ」と音がするまで、受話器フックを溝に押し込んで固定する
 - ・ 受話器が固定され、落下しにくくなります。



● 壁に設置する

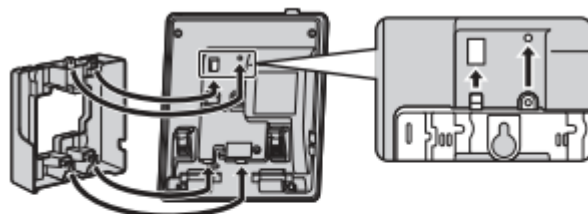
お願い

- ・ ねじを取り付ける際、壁内部のパイプや電気ケーブルなどを避けて、取り付けてください。
- ・ 取り付けに使用するねじやワッシャーは、付属のものをお使いください。
- ・ 壁掛けアダプターを取り付ける際に液晶表示部を下にする場合は、必ず柔らかい布を敷いて作業をしてください。液晶表示部を傷つけるおそれがあります。

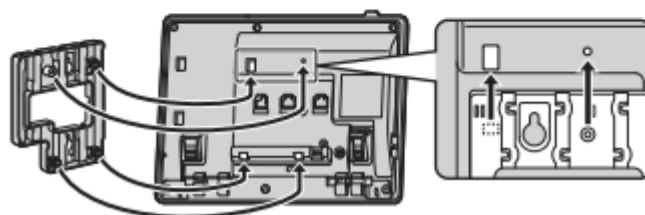
お知らせ

- ・ 壁掛け寸法図は、“5.6 壁掛け寸法図”をご参照ください。
 - ・ 壁の種類によっては、ねじを固定するために市販のアンカープラグを使用して設置する必要があります。
1. 壁掛けアダプターのツメを本機背面の差し込み口に差し込み、「カチッ」と音がするまで矢印方向にずらす

KX-HDV130N



KX-HDV230N



●ヘッドセットを使用する

KX-HDV130N/KX-HDV230Nでは、ヘッドセットを電話機と接続すればそのまま使用が可能です。
着信中の[ヘッドセット]キー押下にて応答、通話となります。
通話中の[ヘッドセット]キー押下にて終話となります。

■ 10.10 本機を設定する

本機を起動したときに設定できる項目を説明します。

スタートアップ設定を起動する

- ① 同梱品のACアダプターを本機に接続する
- ② 本機をネットワークに接続する
- ③ スタートアップ画面で、【設定】を押す
- ④ 設定したい項目を選択する

スタートアップメニューについて

スタートアップメニューでは以下の項目を設定できます。

- ① 基本設定
通話／表示に関する項目等、本機の基本的な項目を設定できます
- ② システム設定
IPアドレスや日時の設定、及び本機のリスタート等の操作ができます

■ 10.11 話中着信（コールウェイティング）

通話中に別の電話の着信があった場合に、通話中の相手を一時的に待たせて別の電話の着信を受けることができる機能です。

● 通話中にかかってきた電話に応答するには

通話中に電話がかかってきた場合に、話中着信音（ピピピ♪）が聞こえます。現状の通話を切る、または保留にし、通話中にかかってきた相手と通話できます。この機能が有効なときのみ使用できます。初期値は有効です。

通話中の電話を切断して、かけてきた相手と通話する

1. 受話器を戻す
2. 受話器を取る

通話中の電話を保留して、かけてきた相手と通話する

1. 【応答】を押す

お知らせ

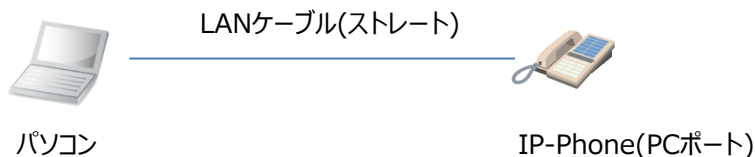
- ・ KX-HDV130の場合、【保留/メッセージ】を押すことでも、かけてきた相手と通話することができます。
- ・ KX-HDV230の場合、【保留】を押すことでも、かけてきた相手と通話することができます。

● 話中着信をOFFにする場合

Web設定画面から設定をします。

設定方法

手順1. パソコンとIP-Phoneを接続します。LANケーブルはIP-PhoneのPCポートに接続します。



手順2. IP-PhoneのIPアドレスを液晶表示部で確認します。



例) 192.168.11.13

参考) 手動でIPアドレスを設定する方法



手順3. IP-Phoneの内蔵Webを有効にします。



手順4. パソコンのWebブラウザからIP-Phoneにアクセスします。



※ 初めてログインするときには、ユーザー名: user パスワード: 空白(NULL)でログインすると、[ユーザー権限パスワード設定]画面が表示されます。新しいパスワードを入力し、新しいパスワードでもう一度認証を実行してログインします。

手順5. コールウェーティングを設定（無効）します。A→B→C順に選択します。



11- 留意点

■ 11.1 ご利用ネットワーク環境における設定

- ・Arcstar Universal One環境でご利用いただく場合、一旦インターネットへ接続して自動設定したのち、Arcstar Universal Oneへ接続し直してください。
 - ・端末自動設定をご利用の際は、Web設定変更サイトでご利用ネットワーク環境（Arcstar Universal Oneまたはインターネット）に合った接続種別を適切に設定してください。ご利用のネットワーク環境と異なった接続種別を設定した場合、ご利用できません。
- なお、端末自動設定の接続種別（初期設定）は下記となります。

お申込み形態	Arcstar Universal One接続オプション	IP-Phoneお買上げメニューお申し込み時における端末自動設定の接続種別（初期設定）
新規	利用なし	インターネット
	利用あり	Arcstar Universal One
変更	利用なし → 利用なし	インターネット
	利用なし → 利用あり	インターネット
	利用あり → 利用なし	インターネット
	利用あり → 利用あり	Arcstar Universal One

■ 11.2 IP-Phoneお買上げ時の管理者権限

IP-Phoneお買上げメニューでご購入された場合、IP-Phone（Panasonic製KX-HDV130/KX-HDV230）の管理者機能を制限しています。そのため、お客様にて管理者機能を必要とする設定を行うことはできません。管理者権限での設定をご希望の場合はお買上げメニュー以外でのご準備をお願いします。

12- 機能用語集

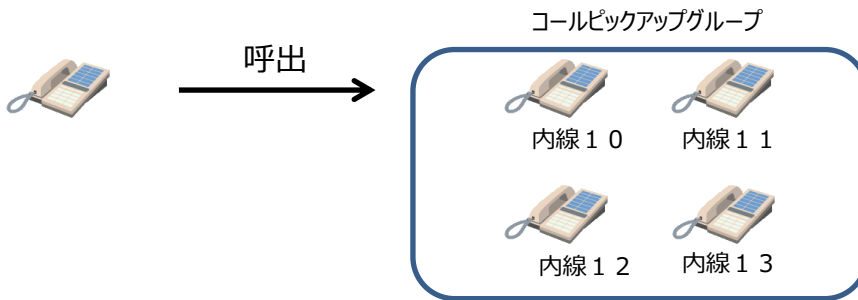
■ 12.1 コールピックアップとは・・・

同一グループ内で呼出中の呼をグループ内の他端末で応答する機能です。

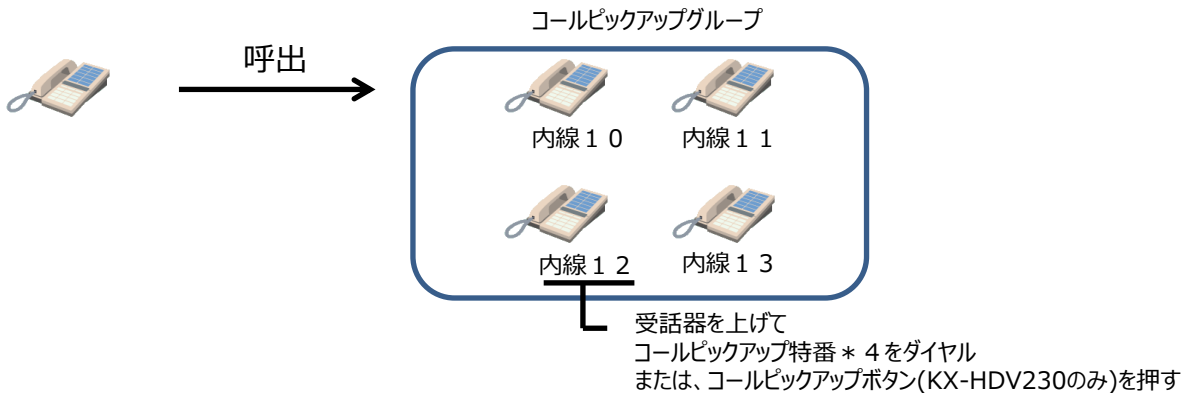
自分の電話番号以外の着信するコールに代理応答できます。着信音が近くにある別の電話機から聞こえたら、コールピックアップを使用して、そのコールを自分の電話機に転送できます。操作方法としては、どこかで電話が着信していたらコールピックアップ用の特番をダイヤルして代理応答します。

【使用事例】

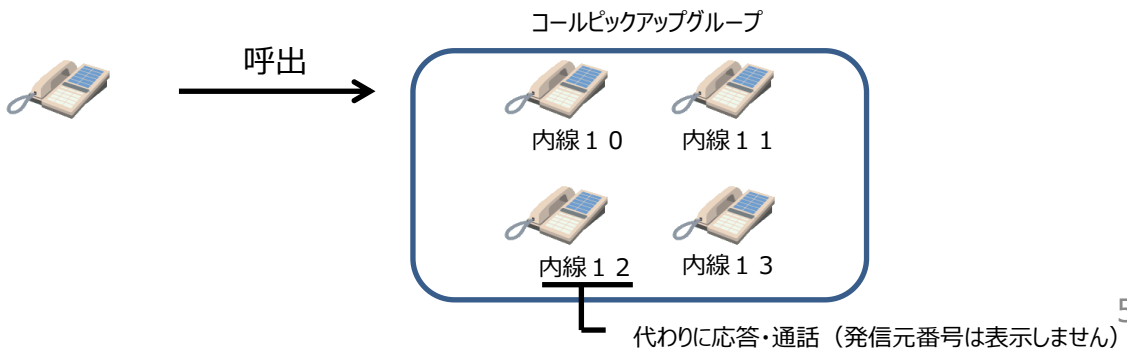
1. 同じグループに所属している内線に電話がかかってきました。



2. グループ内の別の内線電話機を受話器を上げて、コールピックアップ特番（*4）をダイヤルするか、コールピックアップボタン（KX-HDV230のみ）を押します。



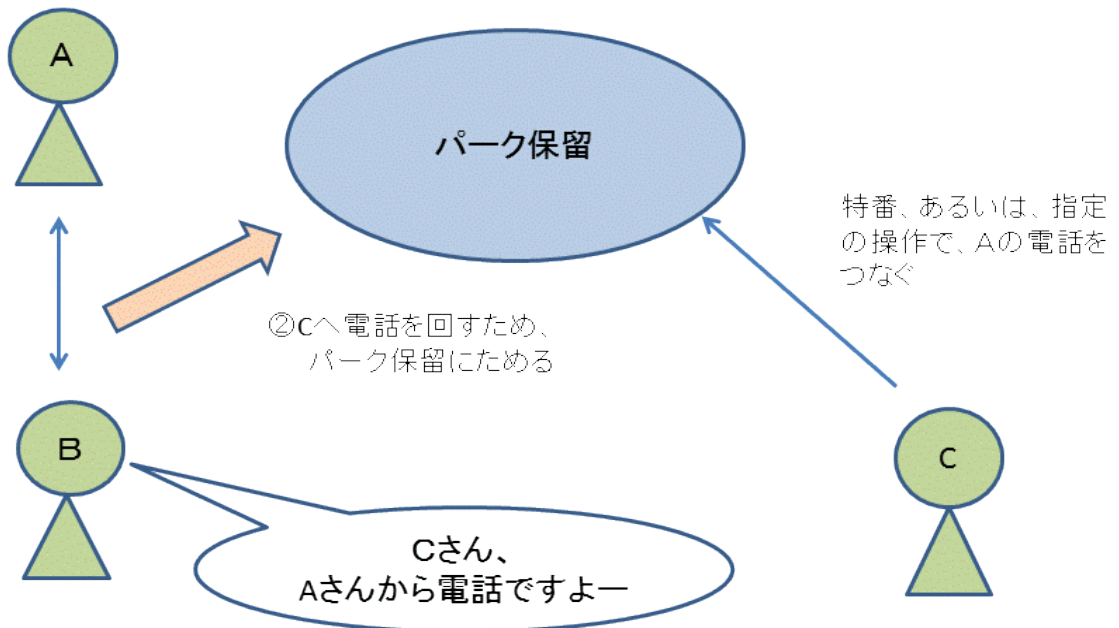
3. グループ内の別の内線電話機で代理応答ができます。



■ 12.2 パーク保留とは・・・

通話中にパーク保留特番（* 3）を押すことにより、通話相手を保留し、任意の電話機から保留解除できる機能です。

パーク保留



BさんはAさんの電話を一度“パーク”というパブリックな保留場所にためる。BさんはCさんにAさんからの電話を取って欲しいという要求を、直接または内線で電話をして伝え、特番の場合は、パーク保留応答特番も伝える。

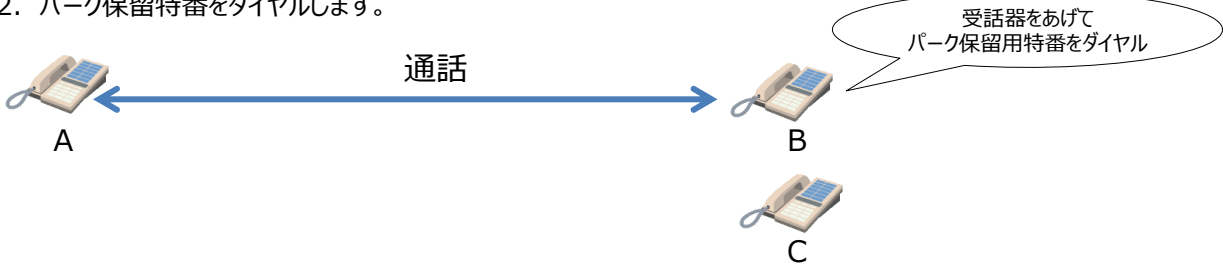
Cさんは、パーク保留応答特番をダイヤルするか、あるいはパーク保留用ボタン(KX-HDV230のみ)を押して、保留になっているコールを取る。

【使用事例】

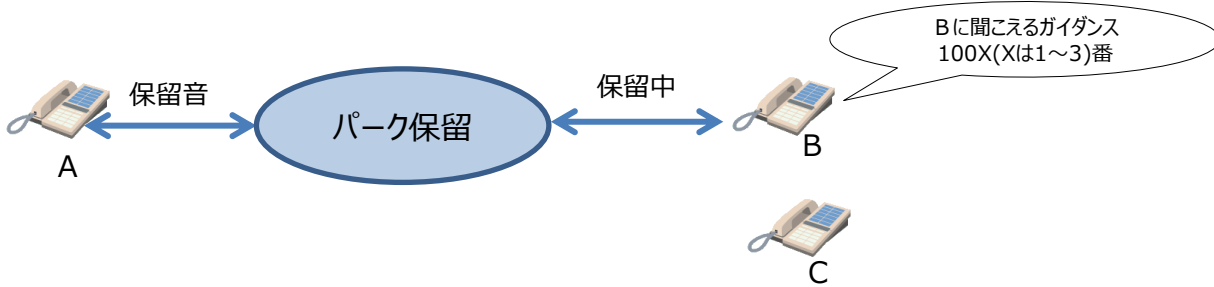
1. 通話しています。



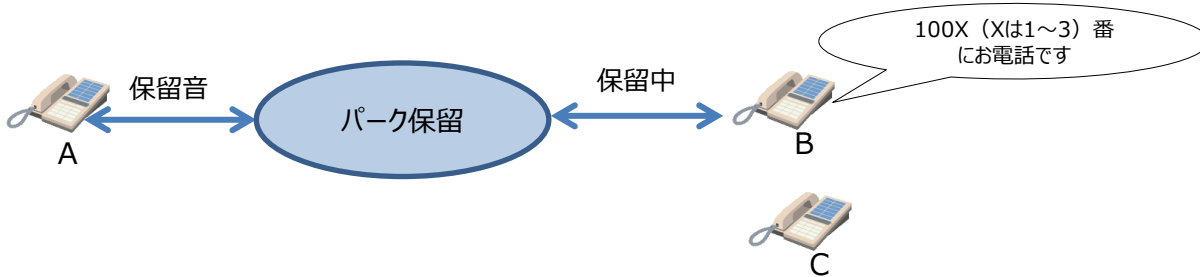
2. パーク保留特番をダイヤルします。



3. パーク保留応答特番が、パーク保留の操作をした電話機にガイダンスされます。



4. グループ内の方などに、ガイダンスされたパーク保留応答特番 100X (Xは1~3) を伝えます。



5. パーク保留応答特番(1001~1003のいずれか)をダイヤルすると、保留していた相手との通話状態になります。

